

CHleru

らくらく授業支援 v2.2 操作ガイド

はじめに

らくらく授業支援をご導入いただき、ありがとうございます。

らくらく授業支援は、「基礎・基本の習得」の学習活動を ICT で支援し、授業を円滑に進めていただくためのシステムです。本書をよくお読みのうえ、授業にお役立てください。

本書の構成

本書は、らくらく授業支援で利用できる機能およびその操作手順について説明した操作ガイドです。本書は次の 3 章で構成されており、別冊の「らくらくシリーズ セットアップガイド」に記載した各種インストールおよび設定が終了していることを前提として書かれています。

1) 1章 らくらくメニュー

運用を始める前に必要なクラスの登録および学習者名簿の登録方法を説明します。

2) 2章 ロッカー

らくらく先生メニューの「ロッカー」の機能のうち、らくらく授業支援導入時に利用できる機能について説明します。授業を始める手順と、授業中によく使う機能の基本的な操作について説明します。

3) 3章 座席

画面受信および授業支援の各種ツールの機能について説明します。

らくらくシリーズには、らくらく授業支援以外の製品（らくらく教材ナビ、らくらく座席表評価）を導入した場合でも共通で利用できる機能があります。それらについては別冊の「らくらくシリーズ v2.2（共通機能）操作ガイド」をご参照ください。

本製品の概要

らくらく授業支援は、タブレット対応教務支援システム「らくらくシリーズ」を構成するシステムの1つで、1人1台のタブレット環境において、タブレットを活用した授業を支援します。

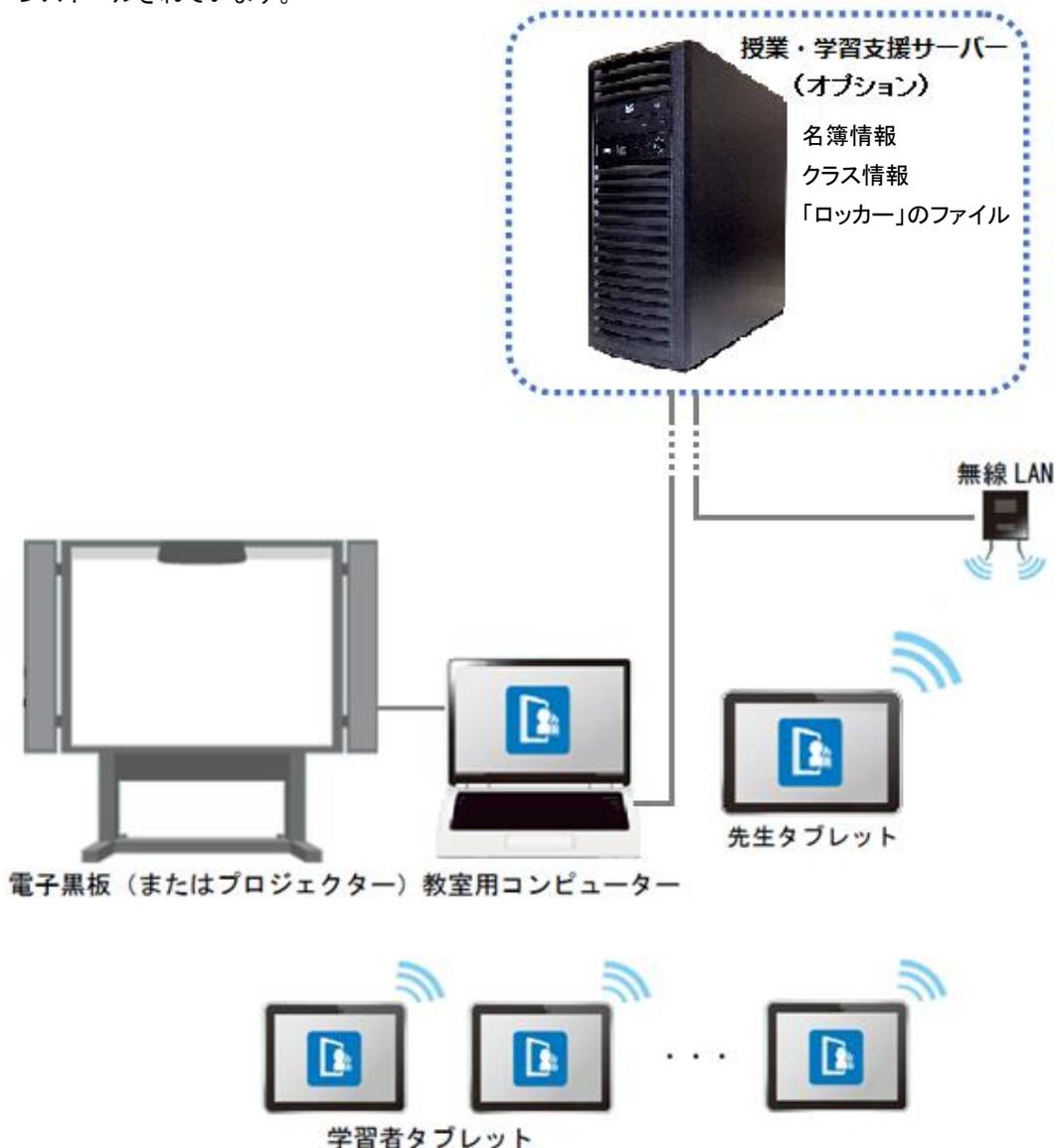


主な機能には、学習者（児童・生徒）がタブレット画面上に図や文字を書き込みながら考えをまとめる、先生が学習者の画面を電子黒板やプロジェクターに映して説明する、指定した学習者にタブレットや電子黒板で発表させるなどがあり、普通教室において学習者がタブレットを使い、基礎・基本を習得・習熟することを支援します。

前提条件

らくらく授業支援システムは、下図のように、学習者タブレットが無線 LAN で教室用コンピューターに接続でき、教室用コンピューターの画面を電子黒板またはプロジェクターに表示できる環境で使うことが基本となります。電子黒板がある環境では、教室用コンピューターの画面を電子黒板上で操作することができます。

教室用コンピューター、学習者タブレットおよび先生タブレットにはそれぞれ、らくらくシリーズがインストールされています。



目次

はじめに	3
本書の構成	3
本製品の概要	4
前提条件	5
らくらくメニュー	9
1.1 起動と終了	10
1.1.1 らくらくメニューを起動する	10
1.1.2 授業の開始と終了	12
1.1.3 らくらくメニューを終了する	15
ロッカー	17
2.1 ロッカーの画面と機能	18
座席	25
3.1 座席の画面と機能	26
3.2 座席メニュー	33
3.2.1 巡回受信表示	33
3.2.2 フリーレイアウト表示	35
3.2.3 グループワーク表示	42
3.2.4 比較表示	44
3.3 グループ分け	45
3.3.1 グループ管理機能を利用する	45
3.3.2 グループタブを利用する	46
3.3.3 フリーレイアウト表示のグループピング	47
3.3.4 アナライザーの回答結果でグループ分けする	47
3.4 座席ツールの機能	48
3.5 操作ロック	50
3.6 Web 禁止	51
3.7 プリンター制御	52
3.8 メッセージ送信	53
3.9 プログラム起動	54
3.9.1 よく使うプログラムをリストに登録する	54
3.9.2 学習者のプログラムを一斉に起動する	55
3.10 アナライザー	58
3.10.1 アナライザーの設問形式と画面	58
3.10.2 アナライザーを実行する	63
3.11 小テスト	67
3.11.1 小テストの構成	67
3.11.2 小テストの問題形式	68
3.11.3 小テストを作成する	71
3.11.4 テキストファイルを用意して小テストを作成する	75
3.11.5 小テスト実行時の設定	79
3.11.6 小テストを実行する	81

3.11.7 小テストの採点結果を表示する	84
3.11.8 小テストの採点結果を確認する	85
3.12 早押しクイズ	86
3.13 自動抽選	89
3.14 一斉印刷	91
3.15 電源管理	92
CHleru サポートについて	93

SECTION

1

らくらく メニュー

この章では、
らくらくシリーズを起動し、授業を始める手順を
説明します。

起動と終了 10

1.1 起動と終了

らくらくシリーズを利用するには、先生 PC（または先生タブレット）でらくらく先生メニューを起動します。また、学習者が利用する場合には学習者タブレットでらくらくメニューを起動します。終了する場合には、先生 PC やタブレットの電源を OFF する前に、らくらく先生メニュー・らくらくメニューを終了します。

1.1.1 らくらくメニューを起動する

●操作手順（先生の場合）

1 先生 PC（または先生タブレット）の電源を ON し、Windows にログオンします。

2 デスクトップの「らくらく先生」アイコンをダブルクリックします。



「ログイン」画面が表示されます。

3 「ログイン」画面でユーザー ID、パスワードを入力し、[ログイン] ボタンをクリックします。

補足

授業・学習支援サーバーを利用しない場合、パスワード入力は不要です。

【授業・学習支援サーバーを利用する場合】

ログイン - らくらく先生サイト

ユーザーID :

パスワード :

ログイン

【授業・学習支援サーバーを利用しない場合】

ログイン - らくらく先生サイト

ユーザーID :

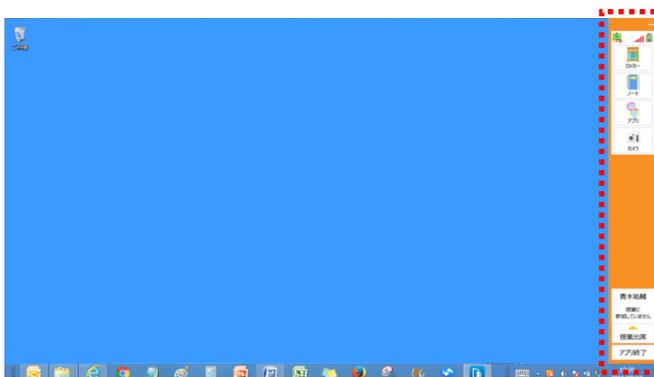
パスワード :

ログイン

4 名前を選択し、[ログイン] ボタンをタップします。



らくらく学習者メニューが表示されます。



1.1.2 授業の開始と終了

授業支援の機能を利用するには、らくらく先生メニューで授業を開始します。学習者側もらくらくメニューで授業に参加します。

●操作手順（先生の場合）

1 先生 PC（または先生タブレット）でらくらく先生メニューを起動します。

2 らくらく先生メニューで [授業開始] をクリックします。

「授業選択」画面が表示されます。



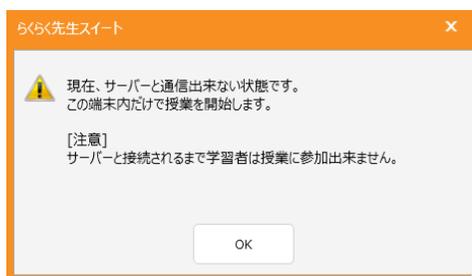
- 3 「授業選択」画面で時程、クラスを選択し、「開始」ボタンをクリックします。

【授業・学習支援サーバーを利用する場合】



授業・学習支援サーバーを利用する場合で未接続のとき、メッセージが表示されます。授業は開始されますが、学習者は授業に参加できません。

授業・学習支援サーバーと未接続の場合



補足

授業・学習支援サーバーを利用しない場合、クラスのみ選択します。

【授業・学習支援サーバーを利用しない場合】



らくらく先生メニューに選択し授業が表示されます。



- 4 授業を終了するには、[授業終了] ボタンをクリックします。

授業選択前の状態にもどります。



補足

学習者が授業に参加していた場合、自動で授業から退出します。

●操作手順（学習者の場合）

- 1 学習者タブレットでらくらくメニューを起動します。

- 2 授業・学習支援サーバーを利用する場合、先生が授業を開始すると学習者は自動で参加します。

【授業・学習支援サーバーを利用する場合】



授業支援サーバーを利用しない場合、[授業出席] ボタンをタップします。

【授業・学習支援サーバーを利用しない場合】

授業に参加します。



- 3 授業から退出するには、[授業退出] ボタンをタップします。

確認画面が表示され、[OK] ボタンをタップすると授業から退出します。



補足

先生が授業を終了すると自動で退出します。



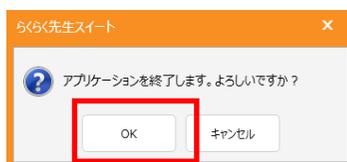
1.1.3 らくらくメニューを終了する

●操作手順（先生の場合）

らくらく先生メニューの [アプリ終了] ボタンをクリックします。



確認画面が表示され、[OK] をクリックするとらくらく先生メニューを終了します、



補足

学習者が授業に参加していた場合、自動で授業から退出します。

●操作手順（学習者の場合）

らくらくメニューで [アプリ終了] ボタンをタップします。



確認画面が表示され、[OK] をクリックするとらくらく先生メニューを終了します、



SECTION

2

ロッカー

この章では、
「ロッカー」の機能のうち、らくらく授業支援導
入時に使える機能について説明します。

ロッカーの画面と機能 18

2.1 ロッカーの画面と機能

らくらく先生メニューおよびらくらくメニューで [ロッカー] ボタンをクリックすると、らくらくシリーズで利用するファイルを管理する画面が表示されます。

●画面構成



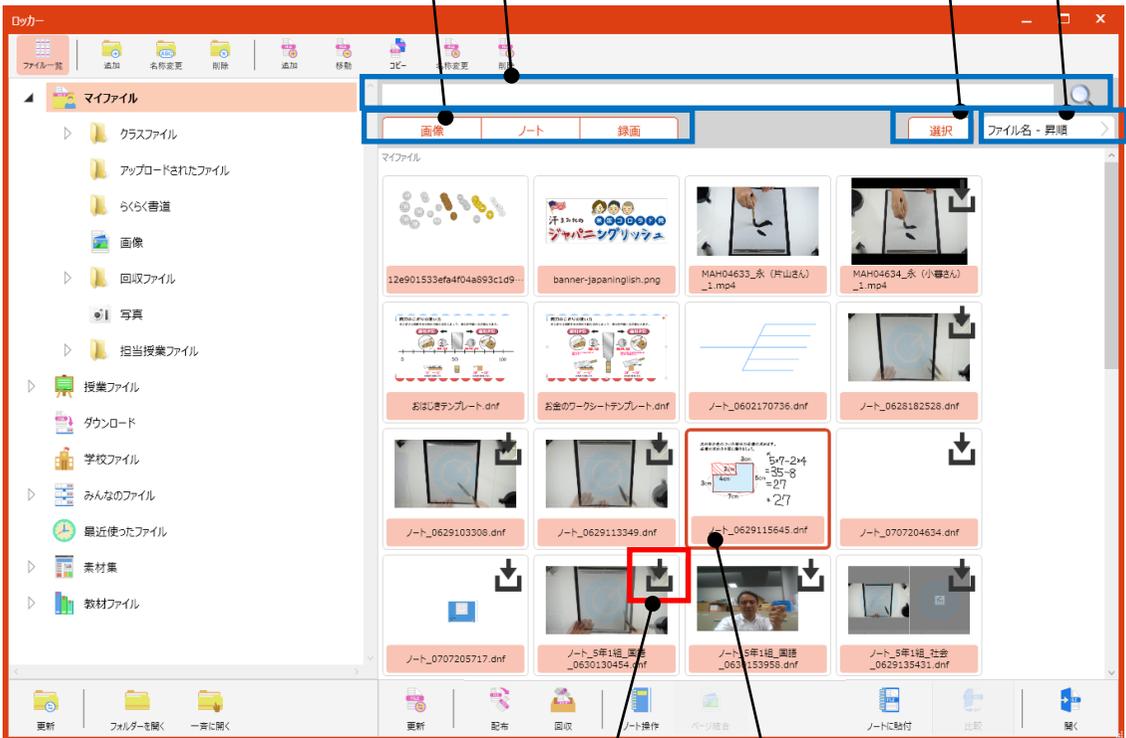
【ファイル一覧の表示】

ファイル検索：
ファイル名の一部を入力して検索し、表示するファイルを絞り込みます。サブフォルダ以下も検索します。

ファイル種類の絞り込み：
「画像」「ノート」「録画」を選択し、一覧に表示するファイルを絞り込みます。

ファイル一覧の並び替え：
リストから並び順を指定し、表示順序を変更します。
・ファイル名 昇順／降順
・更新日付 昇順／降順

複数ファイル選択：
ONの場合、ファイルをタップして複数のファイルを選択できます。
OFFの場合、選択できるファイルは常に1つです。

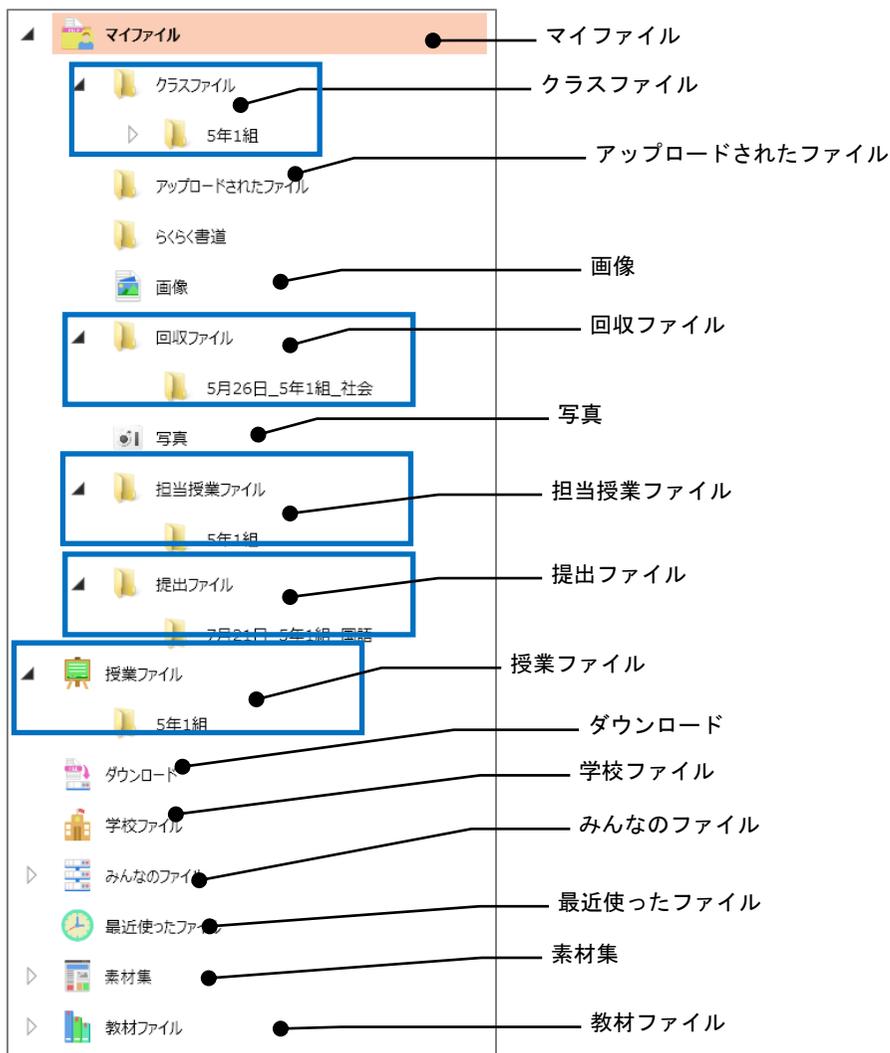


ローカルにダウンロードする必要があるファイルには印がつきます。

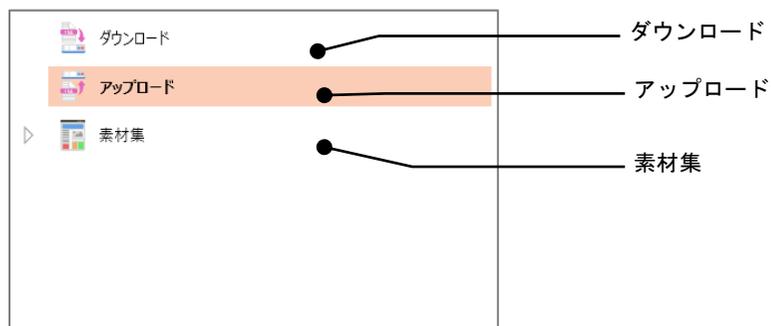
選択中のファイルには赤い枠がつきます。

●フォルダー構成

【授業・学習支援サーバー接続時】



【授業・学習支援サーバー未接続（オフライン時）】



各フォルダーの説明は「らくらくシリーズ v2.2(共通機能)操作ガイド」を参照してください。

●機能



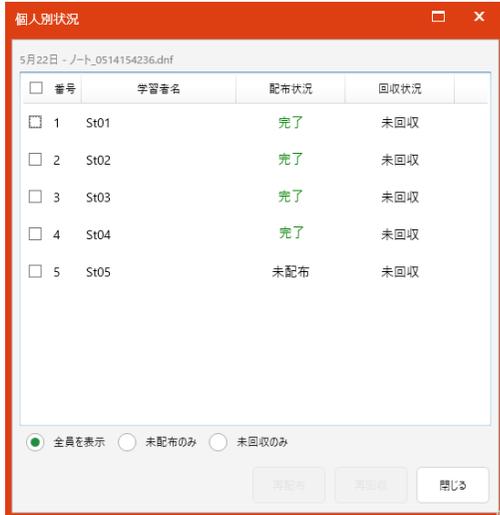
: 先生のみ有効



: 授業を選択している場合のみ有効

機能名称	アイコン	説明
配布  	 配布	<p>選択中のファイルを学習者の「マイファイル」フォルダーに配布します。「配布後実行」にチェックを入れると、配布したファイルを学習者側で開きます。</p> <p>※ 授業・学習支援サーバーを利用しない場合は、授業選択時のみ実行することができます。</p> <p>※ ファイル管理のアクセス方法をサーバー経由に設定している場合は、指定したクラスの学習者全員のフォルダーにファイルをコピーします。</p> <p>【授業・学習支援サーバーを利用する場合で、授業を選択しているとき】</p> <div data-bbox="650 768 1103 967" style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ファイル配布</p> <p>ファイルを配布します。よろしいですか？ ※配布ファイルは上書きされます。</p> <p><input type="checkbox"/> 配布後に実行する。</p> <p style="text-align: right;">OK キャンセル</p> </div> <p>【授業・学習支援サーバーを利用する場合で、授業を選択していないとき】</p> <div data-bbox="646 1060 1108 1315" style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ファイル配布</p> <p>配布クラス</p> <p>5年1組 ></p> <p>※配布ファイルは上書きされます。</p> <p><input type="checkbox"/> 配布後に実行する。</p> <p style="text-align: right;">OK キャンセル</p> </div> <p>【授業・学習支援サーバーを利用しない場合（授業選択時のみ）】</p> <p>配布先のフォルダーを指定して配布します。</p> <div data-bbox="642 1406 1116 1796" style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p>ファイル配布 ×</p> <p>ファイルを配布します。よろしいですか？ ※配布ファイルは上書きされます。</p> <p>配布先</p> <p><input checked="" type="radio"/> 学習者のマイファイルへ配布</p> <p><input type="radio"/> 別の場所へ配布</p> <p style="text-align: right;">> 参照</p> <p><input type="checkbox"/> 配布後に実行する。</p> <p style="text-align: right;">OK キャンセル</p> </div>

「個人別状況」画面が表示され、学習者ごとの配布状況が確認できます。



個人別状況

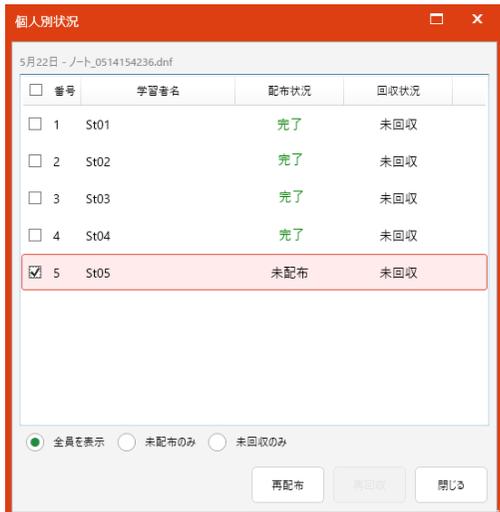
5月22日 - ノート_0514154236.dnf

<input type="checkbox"/>	番号	学習者名	配布状況	回収状況
<input type="checkbox"/>	1	St01	完了	未回収
<input type="checkbox"/>	2	St02	完了	未回収
<input type="checkbox"/>	3	St03	完了	未回収
<input type="checkbox"/>	4	St04	完了	未回収
<input type="checkbox"/>	5	St05	未配布	未回収

全員を表示 未配布のみ 未回収のみ

再配布 再回収 閉じる

学習者を選択し、個別に配布し直すこともできます。



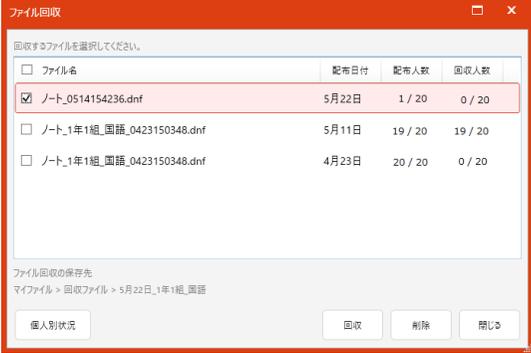
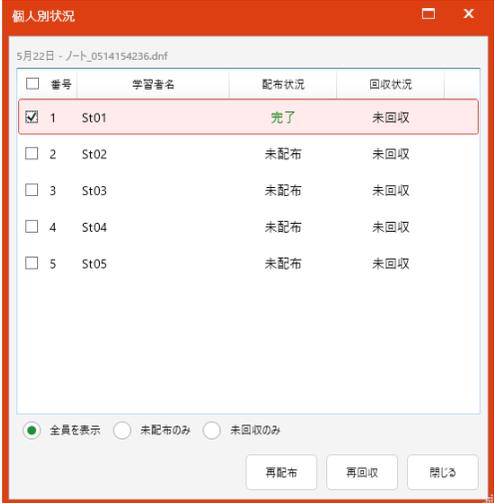
個人別状況

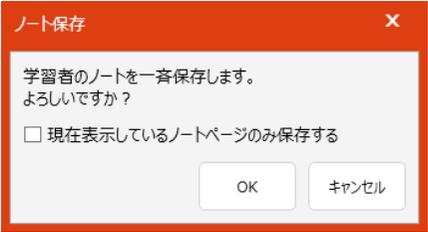
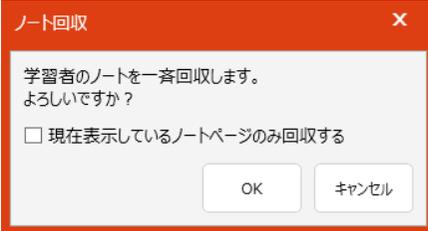
5月22日 - ノート_0514154236.dnf

<input type="checkbox"/>	番号	学習者名	配布状況	回収状況
<input type="checkbox"/>	1	St01	完了	未回収
<input type="checkbox"/>	2	St02	完了	未回収
<input type="checkbox"/>	3	St03	完了	未回収
<input type="checkbox"/>	4	St04	完了	未回収
<input checked="" type="checkbox"/>	5	St05	未配布	未回収

全員を表示 未配布のみ 未回収のみ

再配布 再回収 閉じる

<p>回収</p>  	<p>回収</p>	<p>配布したファイルを先生の「マイファイル」フォルダーに集めます。 ※ 授業選択時のみ実行することができます。 ※ 授業・学習支援サーバーを利用しない場合のみ表示されます。 「ファイル回収」画面が表示され、配布したファイルの一覧から回収対象を指定して集めます。</p>  <p>回収するファイルを選択してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ファイル名</th> <th>配布日付</th> <th>配布人数</th> <th>回収人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> ノート_0514154236.dnf</td> <td>5月22日</td> <td>1 / 20</td> <td>0 / 20</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> ノート_1年1組_国語_0423150348.dnf</td> <td>5月11日</td> <td>19 / 20</td> <td>19 / 20</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> ノート_1年1組_国語_0423150348.dnf</td> <td>4月23日</td> <td>20 / 20</td> <td>0 / 20</td> </tr> </tbody> </table> <p>ファイル回収の保存先 マイファイル > 回収ファイル > 5月22日_1年1組_国語</p> <p><input type="button" value="個人別状況"/> <input type="button" value="回収"/> <input type="button" value="削除"/> <input type="button" value="閉じる"/></p> <p>[個人別状況] をクリックすると、学習者ごとの配布状況が表示され、学習者を個別に選択して回収することもできます。</p>  <p>個人別状況</p> <p>5月22日 - ノート_0514154236.dnf</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>学習者名</th> <th>配布状況</th> <th>回収状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 1</td> <td>St01</td> <td>完了</td> <td>未回収</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 2</td> <td>St02</td> <td>未配布</td> <td>未回収</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 3</td> <td>St03</td> <td>未配布</td> <td>未回収</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 4</td> <td>St04</td> <td>未配布</td> <td>未回収</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 5</td> <td>St05</td> <td>未配布</td> <td>未回収</td> </tr> </tbody> </table> <p><input checked="" type="radio"/> 全員を表示 <input type="radio"/> 未配布のみ <input type="radio"/> 未回収のみ</p> <p><input type="button" value="再配布"/> <input type="button" value="再回収"/> <input type="button" value="閉じる"/></p>	ファイル名	配布日付	配布人数	回収人数	<input checked="" type="checkbox"/> ノート_0514154236.dnf	5月22日	1 / 20	0 / 20	<input type="checkbox"/> ノート_1年1組_国語_0423150348.dnf	5月11日	19 / 20	19 / 20	<input type="checkbox"/> ノート_1年1組_国語_0423150348.dnf	4月23日	20 / 20	0 / 20	番号	学習者名	配布状況	回収状況	<input checked="" type="checkbox"/> 1	St01	完了	未回収	<input type="checkbox"/> 2	St02	未配布	未回収	<input type="checkbox"/> 3	St03	未配布	未回収	<input type="checkbox"/> 4	St04	未配布	未回収	<input type="checkbox"/> 5	St05	未配布	未回収
ファイル名	配布日付	配布人数	回収人数																																							
<input checked="" type="checkbox"/> ノート_0514154236.dnf	5月22日	1 / 20	0 / 20																																							
<input type="checkbox"/> ノート_1年1組_国語_0423150348.dnf	5月11日	19 / 20	19 / 20																																							
<input type="checkbox"/> ノート_1年1組_国語_0423150348.dnf	4月23日	20 / 20	0 / 20																																							
番号	学習者名	配布状況	回収状況																																							
<input checked="" type="checkbox"/> 1	St01	完了	未回収																																							
<input type="checkbox"/> 2	St02	未配布	未回収																																							
<input type="checkbox"/> 3	St03	未配布	未回収																																							
<input type="checkbox"/> 4	St04	未配布	未回収																																							
<input type="checkbox"/> 5	St05	未配布	未回収																																							
<p>提出</p>  	<p>提出</p>	<p>選択中のファイルを先生の「マイファイル」フォルダーに提出します。 ※ 学習者のみ、授業出席時に実行することができます。</p>																																								
<p>ノート操作</p>  	<p>ノート操作</p>	<p>ノートに関する操作を選択し、実行します。</p>  <p>ノート保存 ノート配布 ノート回収 ノート操作</p>																																								

		<p>ノート保存：学習者のノートを一斉に保存します。</p>  <p>「現在表示しているノートページのみ保存する」にチェックを入れると、表示中のページのみ保存します。</p> <p>※ 授業選択時のみ実行することができます。</p> <p>※ 既にあるノートを開いて編集している場合、上書き保存します。</p> <p>ノート配布：選択したノートを学習者に配布します。</p> <p>※ 授業選択時のみ実行することができます。</p> <p>※ 学習者が作業中だったノートが保存され、配布されたノートを開きます。</p> <p>ノート回収：学習者のノートを先生の「マイファイル」フォルダーに集めます。</p>  <p>「現在表示しているノートページのみ回収する」にチェックを入れると、表示中のページのみ回収します。</p> <p>※ 授業選択時のみ実行することができます。</p>
--	--	--



ロッカーの他の機能については「らくらくシリーズ v2.2(共通機能)操作ガイド」および「らくらく教材ナビ v2.2 操作ガイド」を参照してください。

SECTION

3

座席

この章では、
座席メニューを実行したときの授業支援の機能について説明します。

座席の画面と機能	26
座席メニュー	33
グループ分け	45
座席ツールの機能	48
操作ロック	50
Web 禁止	51
プリンター制御	52
メッセージ送信	53
プログラム起動	54
アナライザー	58
小テスト	67
早押しクイズ	86
自動抽選	89
一斉印刷	91
電源管理	92

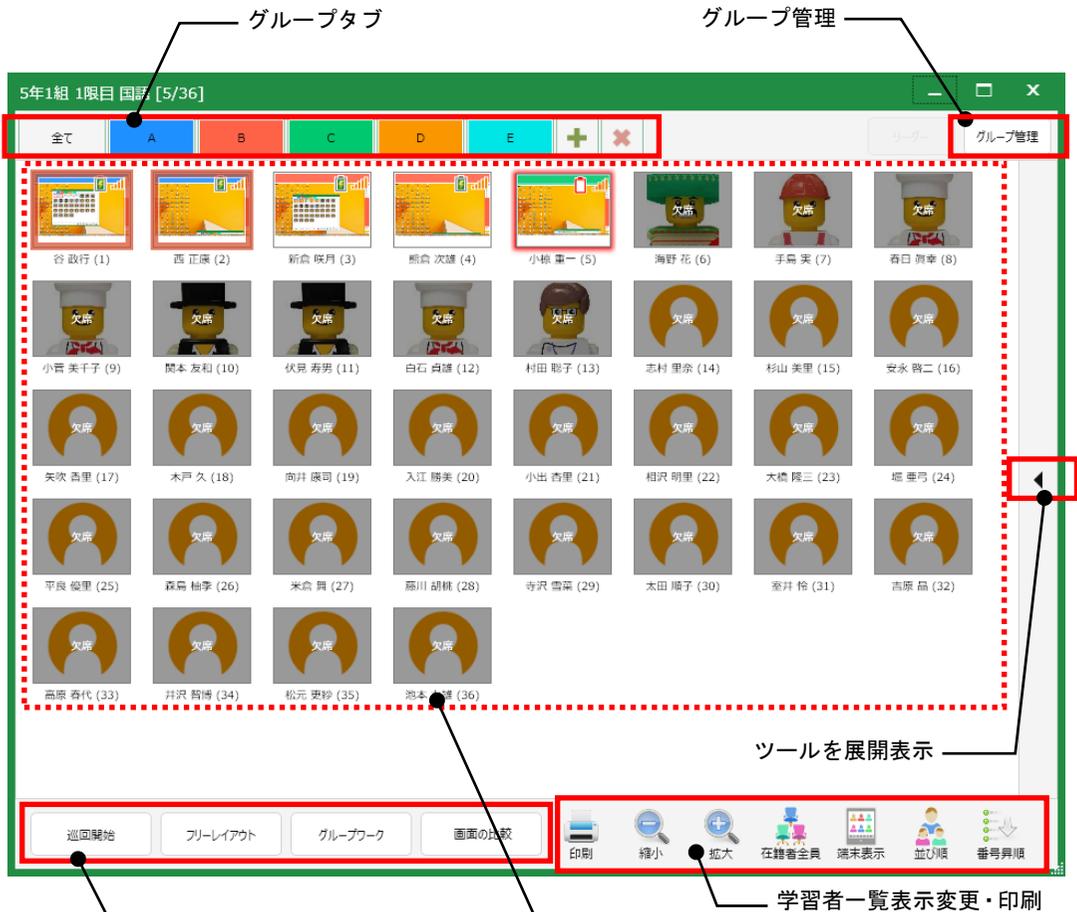
3.1 座席の画面と機能

学習者の作業の様子を確認（画面受信）したり、学習者を制御する授業支援の各種ツールを利用したりすることができます。

補足

この機能は先生のみ有効です。授業を選択していないと利用できません。

●画面構成



座席メニュー

学習者の作業状況を確認するメニューが表示されます。学習者サムネイルをノート表示にして学習者サムネイルを選択している場合、表示されるメニューが変わります。

学習者一覧

選択中の学習者には赤い枠が付きます。ダブルクリックすると、画像ビューアーで対象画面を表示し、ペンツールで画面に書き込むことができ、画像として保存したりノートに貼付したりすることができます。バッテリーが低下している端末は赤い枠が点滅表示します。



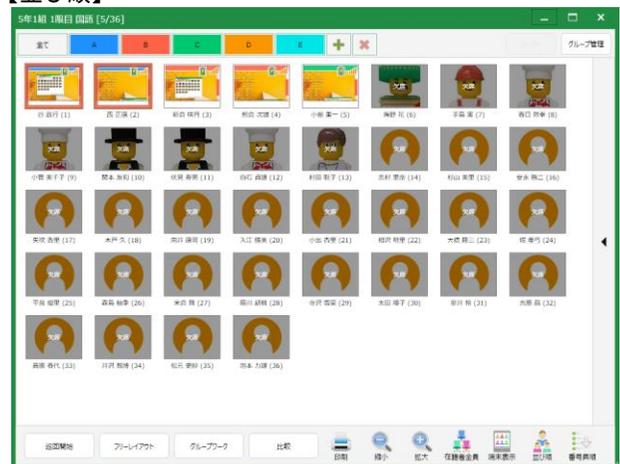
● 学習者一覧表示変更・印刷

機能名称	アイコン	説明
印刷	 印刷	印刷プレビューを表示し、表示中の学習者一覧を印刷します。
縮小	 縮小	学習者一覧の表示を縮小します。
拡大	 拡大	学習者一覧の表示を拡大します。
在籍者全員	 在籍者全員  出席者のみ	表示対象を切り替えます。 在籍者全員： 学習者一覧に、クラス名簿の学習者全員を表示します。 出席者のみ： 学習者一覧に、授業に参加している学習者のみ表示します。

<p>端末表示</p>	 <p>端末表示</p>  <p>ノート表示</p>  <p>写真表示</p>	<p>学習者一覧のサムネイル表示内容を切り替えます。 端末表示：サムネイルに学習者端末画面を表示します。 ノート表示：サムネイルに学習者のノートを表示します。 写真表示：サムネイルにクラス名簿の写真を表示します。 (授業・学習支援サーバー利用時のみ)</p>
-------------	--	---

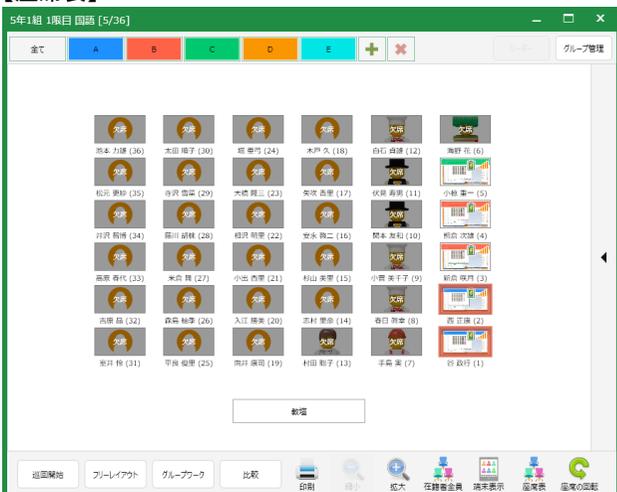
<p>並び順</p>	 <p>並び順</p>  <p>座席表</p>  <p>リスト</p>	<p>学習者一覧の配置・表示形式を切り替えます。 並び順： 学習者一覧を画面左上から横に並べて表示します。表示する順序は次の表示順序切り替え項目で指定します。さらに上記「端末表示」ボタンで何を表示するかを切り替えます。 座席表： 登録されている座席表の並びで表示します。 リスト： 学習者一覧をリスト形式で表示します。表示する順序は次の表示順序切り替え項目で指定します。 ※授業・学習支援サーバー連携ありの場合のみ</p>
------------	--	--

【並び順】

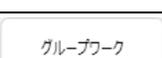
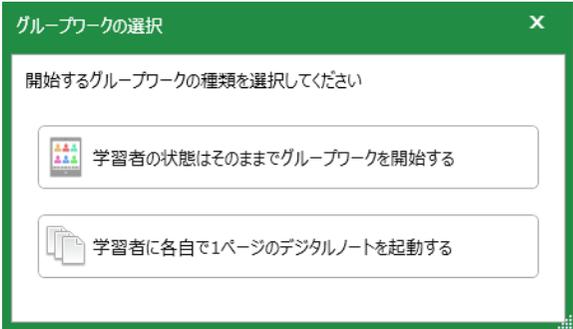


【リスト】



		<p>【座席表】</p>  <p>【座席の反転】</p> <p>[座席の反転] を ON にすると、上下反転（黒板を上に表示）し、教室を後ろから見たレイアウトで表示します。</p> 
<p>番号昇順</p>  <p>番号昇順</p>  <p>番号降順</p>  <p>名前昇順</p>  <p>名前降順</p>  <p>グループ順</p>		<p>上記項目で「並び順」または「リスト」を選択している場合、学習者の表示順序を次の5種類から選びます。</p> <p>番号昇順／番号降順／名前昇順／名前降順／グループ順</p> <p>※ 名前順／名前降順を選択したとき、フリガナが登録されている場合は五十音順になりますが、フリガナが登録されていない場合は文字コード順となるため、必ずしも五十音順に表示されるとは限りません。</p>

● 座席メニュー

機能名称	アイコン	説明
巡回開始		<p>画面を巡回受信表示に切り替えます。一度に表示する学習者画面の数を4種類から指定し、5秒間隔で順番に自動で表示します。</p> <p>参照 巡回受信表示については、「3.2.1 巡回受信表示」(→P33)を参照してください。</p>
フリーレイアウト		<p>画面をフリーレイアウト表示に切り替えます。学習者サムネイルをドラッグ&ドロップ操作で移動して、自由に配置します。(見た目を実際の座席レイアウトに合わせる、意見が同じ学習者を集めるなど)</p> <p>参照 フリーレイアウト表示については、「3.2.2 フリーレイアウト表示」(→P35)を参照してください。</p>
グループワーク		<p>「グループワークの選択」画面を表示し、グループワークの種類を選択後、画面をグループワーク表示に切り替えます。</p> <p>【グループワークの選択画面】</p>  <p>① 「学習者の状態はそのまま」を選択した場合、何もせずグループワーク表示に切り替わります。</p> <p>② 「学習者に各自で1ページのデジタルノートを起動する」を選択した場合、学習者側に新たにグループ別のデジタルノートを起動し、グループワーク表示に切り替わります。学習者側では、グループのデジタルノート内の1ページを各学習者が所有し、自分のページを編集することができますが、他の学習者のページは参照のみ可能となります。</p> <p>グループワーク表示画面では、一度に表示するグループ数を [1×1] [2×2] [3×2] [4×3] から指定し、グループ内の1人の画面を大きく表示します。グループ画面の右側にメンバーのサムネイルが表示され、選択すると表示対象の学習者が切り替わります。</p> <p>※ グループワーク表示は、学習者がグループ分けされていることが前提で、グループが設定されていないと何も表示されません。</p>

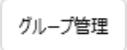
		 <p>グループワーク表示については、「3.2.3 グループワーク表示」(→P42)を参照してください。</p>
画面の確認 画面の比較	<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">画面の確認</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">画面の比較</div>	<p>学習者サムネイルをクリックして1つ選択すると、[画面の確認] ボタンが有効になり、複数(2~6)クリック(またはリストで複数チェック)すると[画面の比較] ボタンが有効になります。</p> <p>[画面の確認] ボタンをクリックすると、画像ビューアーを起動し、選択した学習者画面を先生画面に表示します。(学習者サムネイルをダブルクリックしても同様)。画面上にペンツールで書き込んで説明することもできます。</p> <p>※ 先生が保存すると、ペンツールで書き込んだ内容も含め、画像ファイルとして先生の「マイファイル」フォルダーに保存されます。</p> <p>[画面の比較] ボタンをクリックすると、画像ビューアーを起動し、デスクトップ画面を並べて比較表示します。[結合] ボタンで重ね合わせて表示することもできます。</p>  <p>画面比較表示については、「3.2.4 比較表示」(→P44)を参照してください。</p>

● 座席メニュー（ノート表示で学習者サムネイルを選択している場合）

機能名称	アイコン	説明
ノートの共有	<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; text-align: center;">ノートの共有</div>	<p>選択した学習者のノートに、先生がペンツールで書き込むことができます。</p>  <p>画像や動画の比較画面は先生に表示されません。</p>
ノートの発表	<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; text-align: center;">ノートの発表</div>	<p>選択した学習者のノートを他の学習者に表示します。発表者と先生がノートに書き込んでいる様子も表示されます。</p>  <p>画像や動画の比較画面は先生や発表先に表示されません。</p>
ノートの確認 ノートの比較	<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">ノートの確認</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">ノートの比較</div>	<p>学習者サムネイルをクリックして1つ選択すると、[ノートの確認] ボタンが有効になり、複数(2~6)クリック(またはリストで複数チェック)すると[ノートの比較] ボタンが有効になります。</p> <p>[ノートの確認] ボタンをクリックすると、画像ビューアーを起動し、選択した学習者のノートを先生画面に表示します。(学習者サムネイルをダブルクリックしても同様)。画面上にペンツールで書き込んで説明することもできます。</p> <p>※ 先生がペンツールで書き込んだ内容は画面上に書かれるだけで、学習者のノートには反映されません。</p>

		<p>※ 先生が保存すると、ペンツールで書き込んだ内容も含め、画像ファイルとして先生の「マイファイル」フォルダーに保存されます。</p> <p>[ノートの比較] ボタンをクリックすると、画像ビューアーを起動し、ノート画面を並べて比較表示します。[結合] ボタンで重ね合わせて表示することもできます。</p> <p>参照 ノートの比較表示については、「3.2.4 比較表示」(→P44)を参照してください。</p>
--	--	---

●グループ管理とグループタブ

機能名称	アイコン	説明
グループ管理		<p>グループ管理画面を表示し、グループ数を指定して学習者をランダムにグループ分けします。</p> <p>参照 「グループ管理」については「3.3.1 グループ管理機能を利用する」(→P45)を参照してください。</p>
グループタブ		<p>グループ分けやグループを選択するときに使います。</p> <p>参照 グループタブについては、「3.3.2 グループタブを利用する」(→P46)を参照してください。</p>

3.2 座席メニュー

授業内容や活動内容に応じて、学習者端末の表示を切り替え、学習者の学習状況を確認することができます。「巡回受信表示」「フリーレイアウト表示」「グループワーク表示」「比較表示」の4種類があります。

3.2.1 巡回受信表示

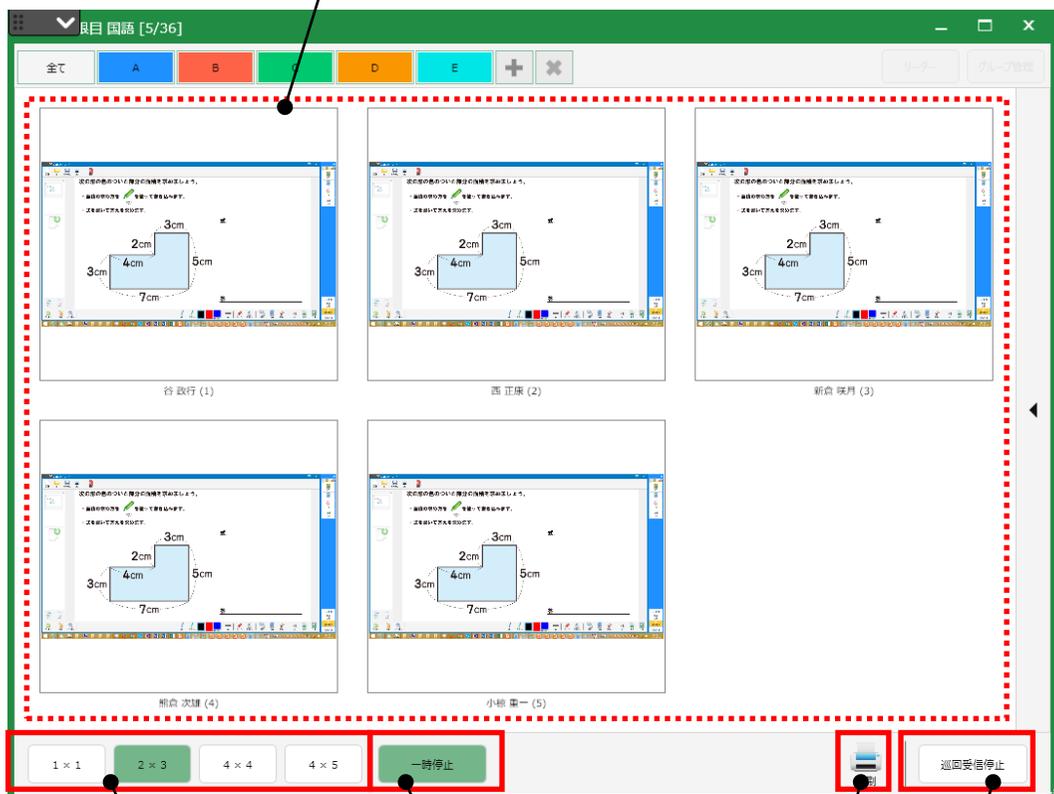
座席画面で「巡回開始」ボタンをクリックすると、一度に表示する学習者画面の数を指定し、5秒間隔で出席者全員の画面を順番に表示します。

●画面構成

学習者サムネイル表示

選択中の学習者には赤い枠が付きます。

ダブルクリックすると、画像ビューアで対象画面を表示し、ペンツールで画面に書き込むことができ、画像として保存したりノートに貼付したりすることができます。



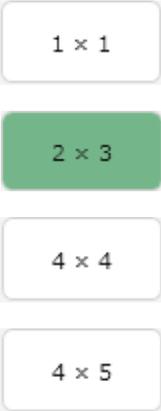
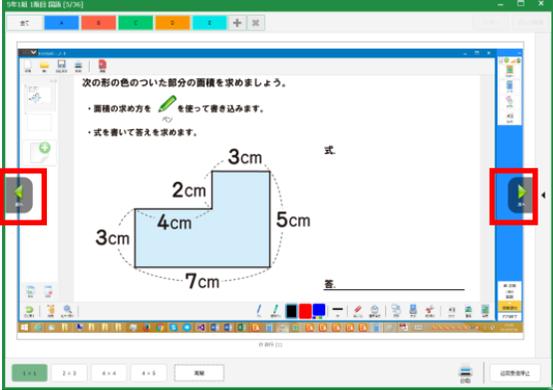
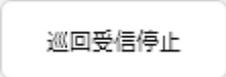
画面数

一時停止／再開

印刷

巡回受信停止

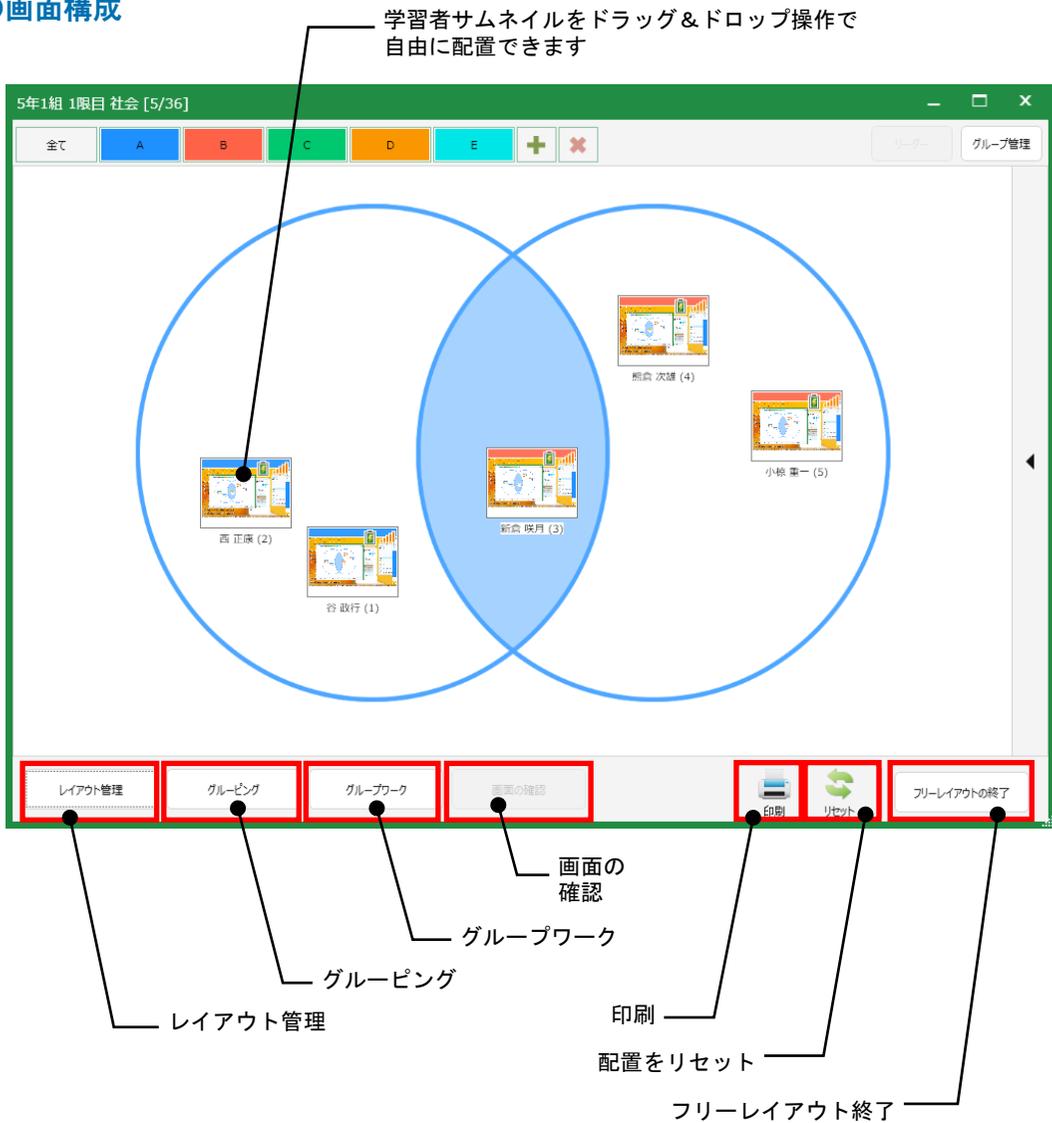
●機能

機能名称	アイコン	説明
画面数		<p>一度に表示する学習者画面の数を次の4種類から指定します。</p> <p>[1×1] , [2×3] , [4×4] , [4×5]</p>
一時停止／再開		<p>現在表示している画面で巡回を一時停止します。 [再開] をクリックすると巡回受信を再開します。</p> <p>巡回一時停止中は画面の左右に [前へ] [次へ] が表示され、受信画面対象画面を切り替えることができます。</p> 
印刷		<p>印刷プレビューを表示し、表示中の画面を印刷します。</p>
巡回受信停止		<p>巡回受信を停止し、元の画面に戻ります。</p>

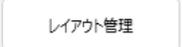
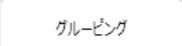
3.2.2 フリーレイアウト表示

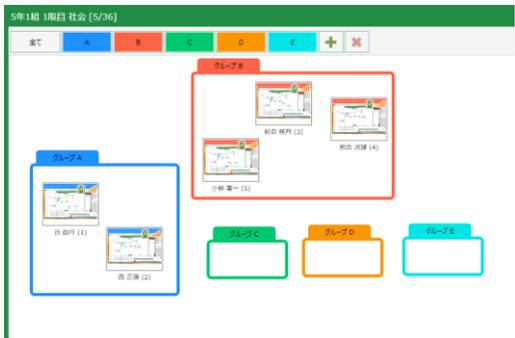
学習者サムネイルをドラッグ&ドロップ操作で任意の位置に配置して表示します。見た目を実際の座席レイアウトに合わせたり、意見でグループ分けして表示したりするなど、自由に使えます。

●画面構成



●機能

機能名称	アイコン	説明
レイアウト管理		<p>「レイアウト管理」画面を表示し、座席レイアウトの背景に表示する画像を指定したり、座席レイアウトを保存したり、読み込んだりします。</p>  <p>参照 座席レイアウトの保存および読み込みの手順は後述の操作手順を参照してください。</p> <p>背景を設定：ファイル選択画面を表示し、座席レイアウトの背景に表示する画像を指定します。指定後、[閉じる] ボタンで「レイアウト管理」画面を閉じ、学習者サムネイルをレイアウトします。</p> <p>※枠線や机の配置図などを読み込み、レイアウト時の目安にすることもできます。また、「素材集」からベン図などを読み込み、同じ意見の学習者を配置することなどもできます。</p> <p>背景を削除：背景に画像を設定している場合、削除します。</p> <p>画像として保存： 表示中の画面を画像データとして保存します。</p> <p>閉じる： 「レイアウト管理」画面を閉じます。</p>
グルーピング		<p>グルーピングモードに移り、学習者をグループ分けします。グルーピングモードではグループの枠を表示し、枠内に学習者サムネイルを配置することによりグループ化します。</p>

		 <p>参照 グループワークの手順は後述の操作手順を参照してください。</p>
グループワーク	グループワーク	<p>グループワーク表示に切り替えます。</p> <p>参照 グループワーク表示については、「3.2.3 グループワーク表示」(→P42)を参照してください。</p>
画面の確認 画面の比較	画面の確認 画面の比較	<p>学習者サムネイルをクリックして1つ選択すると、「画面の確認」ボタンが有効になり、複数(2~6)クリック(またはリストで複数チェック)すると「画面の比較」ボタンが有効になります。</p> <p>[画面の確認] ボタンをクリックすると、画像ビューアーを起動し、選択した学習者画面を先生画面に表示します。(学習者サムネイルをダブルクリックしても同様)。画面上にペンツールで書き込んで説明することもできます。 ※ 先生が保存すると、ペンツールで書き込んだ内容も含め、画像ファイルとして先生の「マイファイル」フォルダーに保存されます。</p> <p>[画面の比較] ボタンをクリックすると、画像ビューアーを起動し、デスクトップ画面を並べて比較表示します。[結合] ボタンで重ね合わせて表示することもできます。</p> <p>参照 画面比較表示については、「3.2.4 比較表示」(→P44)を参照してください。</p> <p>学習者サムネイルをノート表示にしている場合は、代わりに[ノートの確認] [ノートの比較] ボタンが表示され、デスクトップ画面ではなく、ノート画面を確認または比較表示します。</p> <p>参照 ノートの比較表示については、「3.2.4 比較表示」(→P44)を参照してください。</p>
印刷	 印刷	印刷プレビューを表示し、表示中の画面を印刷します。
配置をリセット	配置をリセット	学習者のサムネイルを元の並び順に戻します。

フリーレイアウトの終了	フリーレイアウトの終了	フリーレイアウト表示を終了し、元の画面に戻ります。
-------------	-------------	---------------------------

●操作手順（座席レイアウトの保存）

- 1 フリーレイアウト表示で学習者サムネイルを配置後、[レイアウト管理] ボタンをクリックします。

「レイアウト管理」画面が表示されます。

- 2 [現在のレイアウトを追加] をクリックし、レイアウトの名称を入力します。



- 3 [追加] ボタンをクリックします。



座席レイアウトが保存され、一覧に表示されます。

補足 レイアウトは授業ごとに保存されません。

補足 [エクスポート] ボタンをクリックすると、座席レイアウトの情報を xml ファイルとして保存できます。他の授業で同じレイアウトを使いたい場合などに、エクスポートした座席レイアウトの情報を [インポート] で読み込むことができます。



4 [閉じる] ボタンをクリックすると、レイアウト表示にもどります。

●操作手順（座席レイアウトの読み込み）

1 フリーレイアウト表示で [レイアウト管理] ボタンをクリックします。

「レイアウト管理」画面が表示されます。

2 レイアウト一覧で座席レイアウトを選択し、[開く] ボタンをクリックします。

指定したレイアウトが反映されます。

補足 [インポート] ボタンをクリックしてエクスポート済みの座席レイアウトの情報を指定すると、その情報を読み込んでレイアウト一覧に表示します。



3 [閉じる] ボタンをクリックすると、レイアウト表示にもどります。

補足

レイアウト一覧に表示される名称を変更したい場合、対象の座席レイアウトを選択し名称を入力後、[名称変更] ボタンをクリックします。

補足

既存の座席レイアウトの背景や配置を変更して更新したい場合、適宜変更を加えた後、[レイアウト管理] ボタンをクリックして対象の座席レイアウトを選択し、[更新] ボタンをクリックします。

●操作手順（グルーピング）

1 フリーレイアウト表示で [グルーピング] ボタンをクリックします。

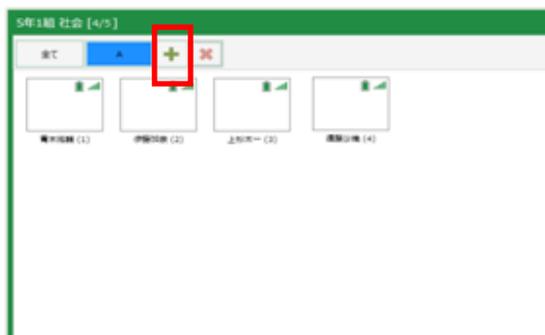
グルーピングモードに切り替わり、授業に参加している学習者のみ表示されます。

補足

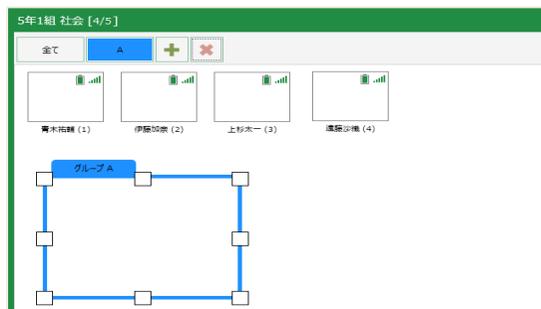
既にグループ化されている場合、グループ化されている状態で表示されますが、グルーピングモードで組み替えることができます。

2 [グループ追加] をクリックします。

グループ枠が作成されます。



3 必要な数のグループ枠を作成し、適宜位置や大きさを変更します。

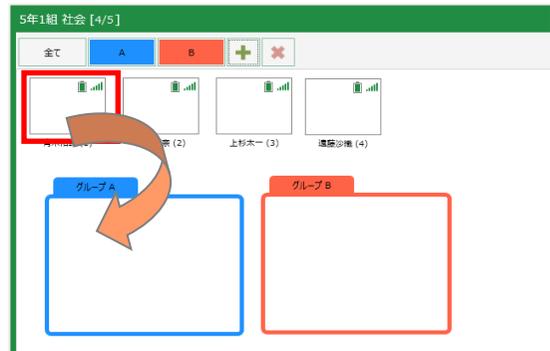


4 学習者サムネイルをドラッグ&ドロップ操作でグループ枠内に移動します。

グループ化されます。

補足

学習者サムネイルの一部がグループ枠に入っていればグループ化されます。



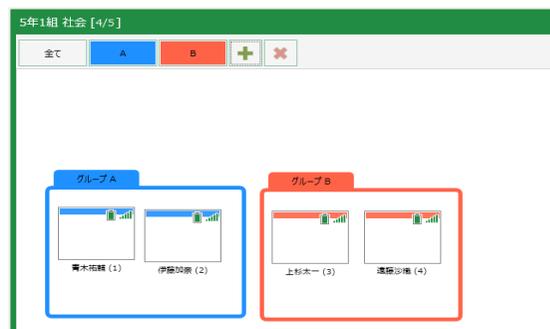
5 同様の操作で、出席者全員をグループに分けます。

6 グループ分けが完了したら [グルーピング] ボタンをクリックします。

グルーピングモードを終了し、フリーレイアウト画面にもどります。

補足

出席者全員をグループに入れないとグルーピングを終了できません。



3.2.3 グループワーク表示

一度に表示するグループ数を [1×1] [2×2] [3×2] [4×3] から指定し、グループ内の 1 人の画面を大きく表示します。グループ画面の右側にメンバーのサムネイルが表示され、選択すると表示対象の学習者が切り替わります。

補足

グループワーク表示は、学習者がグループ化されていることが前提で、グループが設定されていないと何も表示されません。

● 画面構成

The screenshot shows a software interface for group work. At the top, there are tabs labeled A, B, C, D, and E. Below the tabs, there are four main panels labeled A, B, C, and D. Panel A shows a document with a star icon and a red dashed box around it. Panel B shows a document with a star icon. Panel C is empty. Panel D is empty. On the right side, there is a vertical list of thumbnails labeled 谷政行 (1), 西正康 (2), 新島 咲月 (3), 熊倉 次雄 (4), and 小椋 暁一 (5). A red dashed box highlights the first two thumbnails. At the bottom, there is a control bar with buttons for '画像として保存', '1×1', '2×2', '3×2', '4×3', '印刷', and 'グループワークの終了'. A red dashed box highlights the '2×2' button. A red dashed box highlights the '印刷' button. A red dashed box highlights the 'グループワークの終了' button. A red dashed box highlights a '次のグループ' button on the right side. Annotations with lines point to various elements: '表示中の学習者' points to the star icon in panel A; 'グループのメンバー一覧' points to the thumbnail list; 'グループ数が一度に表示するグループ数より多い場合、画面の左右に [前ページ] [次ページ] が表示され、表示するグループを切り替えます' points to the '次のグループ' button; '画像として保存' points to the '画像として保存' button; '表示グループ数' points to the '2×2' button; '印刷' points to the '印刷' button; and 'グループワークの終了' points to the 'グループワークの終了' button.

表示中の学習者

グループのメンバー一覧

グループ数が一度に表示するグループ数より多い場合、画面の左右に [前ページ] [次ページ] が表示され、表示するグループを切り替えます

画像として保存

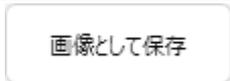
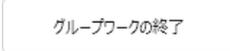
表示グループ数

印刷

グループワークの終了

次のグループ

●機能

機能名称	アイコン	説明
画像として保存		表示中の画面を画像データとして保存します。
表示グループ数		一度に表示するグループの数を次の4種類から指定します。 [1×1] , [2×2] , [3×2] , [4×3]
印刷		印刷プレビューを表示し、表示中の画面を印刷します。
グループワークの終了		グループワーク表示を終了し、元の画面に戻ります。

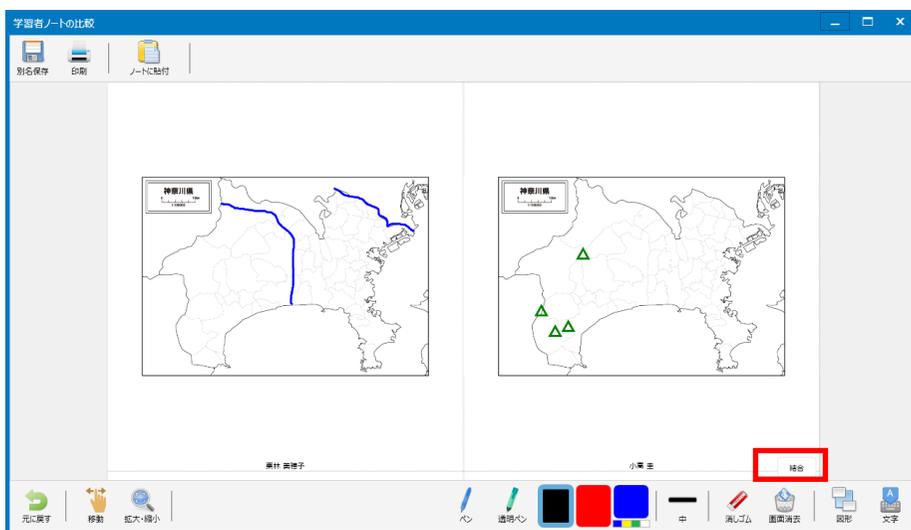
3.2.4 比較表示

学習者サムネイルを複数選択（6個まで）し、[画面比較] または [ノートへの比較] ボタンをクリックすると、画像ビューアーを起動し、デスクトップ画面やノート画面を比較表示します。画像ビューアーでは、ペンツールで書き込んだり、画像として保存・印刷したりすることができます。また、[結合] ボタンをクリックすると重ね合わせて表示します。

補足

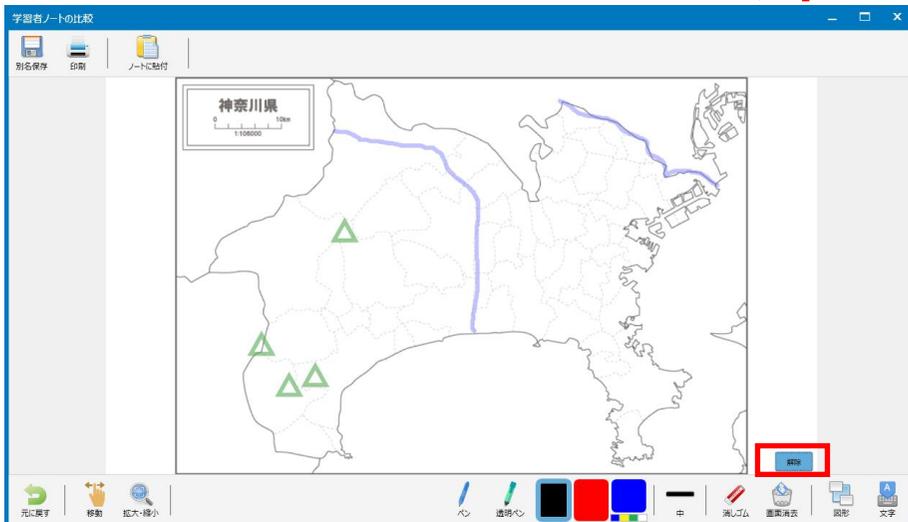
学習者一覧の表示が [端末表示] [写真表示] の場合、デスクトップ画面、[ノート表示] の場合、ノート画面を比較表示します。

【学習者ノートの比較表示（2個）】



[結合] ↓ ↑ [解除]

【学習者ノートの比較表示・結合（2個）】



3.3 グループ分け

グループワークを実行するには、学習者をグループ分けしておく必要があります。グループ分けする方法は次の4種類あります。

- ・グループ管理機能を利用する
- ・グループタブを利用する
- ・フリーレイアウト表示の「グルーピング」を実行する
- ・アナライザーの回答結果でグループを分ける

3.3.1 グループ管理機能を利用する

グループの数を指定し、学習者をランダムにグループ化します。グループのリーダーは、先生が指名するか、ランダムに決めるかを選ぶことができます。

●操作手順

1 座席画面で「グループ管理」ボタンをクリックします。

「グループ管理」画面が表示されます。

2 グループ数のプルダウンリストでグループの数を選択します。（「+」「-」ボタンで増減できます。）

3 リーダーの決め方を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

- ・「リーダーを決めてグルーピングする」の場合：各グループのリーダーを順番に指名します。残りの学習者はランダムにグループ分けされます。
- ・「グループ数を決めてグルーピングする」の場合：ランダムにグループ分けされ、リーダーもランダムに決まります。

学習者がグループで色分け表示されます。各グループのリーダーには★印が付きます。



●機能（グループ管理）

機能名称	説明
リーダー変更	現在のグループ分けでリーダーを選び直します。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; display: inline-block;"> 補足 「グループ管理」画面を閉じ、座席画面で学習者サムネイルを選択して [リーダー] ボタンをクリックしても、同じグループ内のリーダーを変更することができます。 </div>
インポート	[エクスポート] で保存したグループ情報からグループを復元します。
エクスポート	現在のグループ分けの情報を保存します。保存したファイルを指定して [インポート] すると、同じグループを作成できます。

3.3.2 グループタブを利用する

グループタブに学習者サムネイルをドラッグ&ドロップしてグループ分けします。

●操作手順

- 1 座席画面で [グループを追加する] ボタンをクリックします。

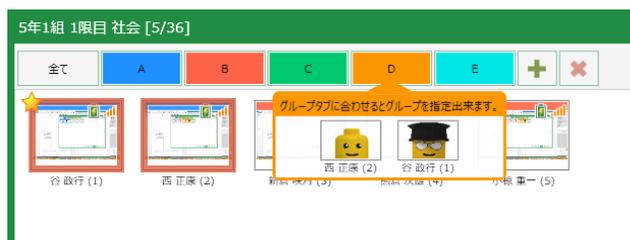
グループタブが追加されます。必要な数のグループを追加します。



- 2 学習者サムネイルをクリックして選択し、ドラッグしてグループタブにドロップします。

補足

複数連続してクリックすると、複数個選択できます。選択したサムネイルには赤い枠が付きます。



グループ化され、学習者サムネイルにグループの色が付きます。

- 3 グループ分け後、リーダーにしたい学習者を1名選択します。

[リーダー] ボタンが有効になります。



- 4 [リーダー] ボタンをクリックします。



選択した学習者がそのグループのリーダーになります。リーダーには★印が付きません。



- 5 手順3, 4を繰り返して、各グループのリーダーを指名します。

3.3.3 フリーレイアウト表示のグルーピング

フリーレイアウト表示に切り替え、[グルーピング] ボタンでグループ枠を表示し、学習者サムネイルをグループ枠にドラッグ&ドロップ操作で配置することによりグループ分けします。

参照

フリーレイアウト表示のグルーピングについては、「3.2.2 フリーレイアウト表示」の操作手順(グルーピング) (→P40)を参照してください。

3.3.4 アナライザーの回答結果でグループ分けする

アナライザーを実行し、同じ回答の学習者同士をグループにします。

参照

アナライザーの使い方は「3.10 アナライザー」 (→P58)を参照してください。

3.4 座席ツールの機能

学習者を対象とし、次の各種授業支援のツールを利用することができます。

●機能

機能名称	アイコン	説明
操作ロック	 操作ロック	学習者の操作を一時的に禁止します。 参照 操作ロックについては、「3.5 操作ロック」(→P50)を参照してください。
Web 禁止 ※iOS 版は 実行不可	 Web禁止	学習者の Web アクセスを一時的に禁止します。 参照 Web 禁止については、「3.6 Web 禁止」(→P51)を参照してください。
プリンター制御	 プリンター制御	学習者の印刷を一時的に禁止します。 参照 プリンター制御については、「3.7 プリンター制御」(→P52)を参照してください。
メッセージ送信	 メッセージ送信	学習者に先生からのメッセージを表示します。 参照 メッセージ送信については、「3.8 メッセージ送信」(→P53)を参照してください。
プログラム起動	 プログラム起動	学習者のプログラムを一斉に起動します。 参照 プログラム起動については、「3.9 プログラム起動」(→P54)を参照してください。
アナライザー	 アナライザー	選択して答える問題や入力して答える問題を実行し、その場で結果を集計します。 参照 アナライザーについては、「3.10 アナライザー」(→P58)を参照してください。
小テスト ※iOS 版は 実行不可	 小テスト	あらかじめテスト用紙を用意し、開始・停止を指定して実行します。その場で採点し、結果をフィードバック・保存します。 参照 小テストについては、「3.11 小テスト」(→P67)を参照してください。
早押しクイズ	 早押しクイズ	早押しボタンを表示し、早く押した順に表示します。 参照 早押しクイズについては、「3.12 早押しクイズ」(→P86)を参照してください。

自動抽選	 自動抽選	<p>学習者の中からランダムに1名指名します。</p> <p>参照 自動抽選については、「3.13 自動抽選」(→P89)を参照してください。</p>
一斉印刷	 一斉印刷	<p>学習者端末の画面やノートを一括して印刷します。</p> <p>参照 一斉印刷については、「3.14 一斉印刷」(→P91)を参照してください。</p>
電源管理 ※iOS版は 実行不可	 電源管理	<p>学習者端末を先生からリモートでサインアウト、再起動、シャットダウンします。</p> <p>参照 電源管理については、「3.15 電源管理」(→P92)を参照してください。</p>

3.5 操作ロック

学習者の操作を一時的に禁止します。一部の学習者だけ対象にしたり、一部の学習者だけ解除したりすることができます。

●操作手順

- 1 座席ツールメニューで[操作ロック]ボタンをクリックします。



出席している学習者全員がタブレット操作できなくなります。学習者サムネイルに「操作ロック中」のアイコンが表示されます。

補足

[操作ロック] ボタンをクリックする前に学習者を選択していると、選択した学習者のみが対象となります。

【操作ロック中】



水口 百花 (1)

[操作ロック] ボタンの右上に、対象人数が表示されます。



- 2 一部の学習者の操作ロックを解除するには、対象学習者を選択し、[操作ロック] ボタンをクリックします。

機能を実行中、学習者を個別に選択して [操作ロック] ボタンをクリックすると、実行状態を反転（操作ロック⇔操作ロック解除）します。

【操作ロック解除】



佐川 信太郎 (4)

- 3 全員の操作ロックを解除するには、学習者サムネイルを選択せずに、[操作ロック] ボタンをクリックします。

操作ロックが解除され、学習者がタブレット操作できるようになります。

3.6 Web 禁止

学習者の Web ブラウザ操作を一時的に禁止します。一部の学習者だけ対象にしたり、一部の学習者だけ解除したりすることができます。

補足

iOS 版では利用できません。

●操作手順

1 座席ツールメニューで [Web 禁止] ボタンをクリックします。



出席している学習者全員が Web ブラウザを使用できなくなります。学習者サムネイルに「Web 禁止中」のアイコンが表示されます。

補足

[Web 禁止] ボタンをクリックする前に学習者を選択していると、選択した学習者のみが対象となります。

【Web 禁止中】



青木祐輔 (1)

[Web 禁止] ボタンの右上に、対象人数が表示されます。



2 一部の学習者の Web 禁止を解除するには、対象学習者を選択し、[Web 禁止] ボタンをクリックします。

機能を実行中、学習者を個別に選択して [Web 禁止] ボタンをクリックすると、実行状態を反転 (Web 禁止⇔Web 禁止解除) します。

【Web 禁止解除】



伊藤加奈 (2)

3 全員の Web 禁止を解除するには、学習者サムネイルを選択せずに、[Web 禁止] ボタンをクリックします。

Web 禁止が解除され、学習者が Web ブラウザを使用できるようになります。

3.7 プリンター制御

学習者の印刷を一時的に禁止します。一部の学習者だけ対象にしたり、一部の学習者だけ解除したりすることができます。

●操作手順

- 1 座席ツールメニューで [プリンター制御] ボタンをクリックします。



出席している学習者全員が印刷できなくなります。学習者サムネイルに「プリンター制御実行中」のアイコンが表示されます。

補足

[プリンター制御] ボタンをクリックする前に学習者を選択していると、選択した学習者のみが対象となります。

【プリンター制御実行中】



青木祐輔 (1)

[プリンター制御] ボタンの右上に、対象人数が表示されます。



- 2 一部の学習者のプリンター制御を解除するには、対象学習者を選択し、[プリンター制御] ボタンをクリックします。

機能を実行中、学習者を個別に選択して [プリンター制御] ボタンをクリックすると、実行状態を反転（プリンター制御実行 ⇄ プリンター制御解除）します。

【プリンター制御解除】



伊藤加奈 (2)

- 3 全員のプリンター制御を解除するには、学習者サムネイルを選択せずに、[プリンター制御] ボタンをクリックします。

プリンター制御が解除され、印刷できるようになります。

3.8 メッセージ送信

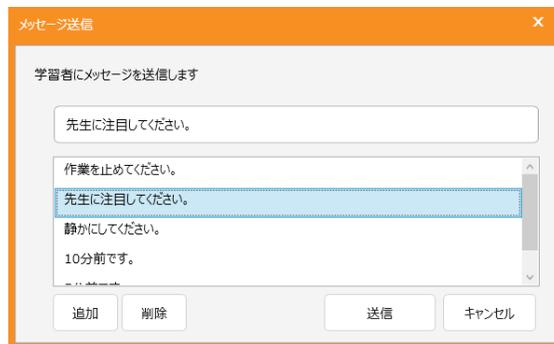
先生 PC から学習者タブレットへメッセージを送ります。作業の指示や注意点などを学習者タブレットに表示させることができます。

● 操作手順

1 座席ツールメニューで [メッセージ送信] ボタンをクリックします。

「メッセージ送信」画面が表示されます。

2 リストのメッセージを選択するか、入力欄に文字を入力し、[送信] ボタンをクリックします。



補足

リストにメッセージを登録する場合、入力欄にメッセージを入力し、[追加] ボタンをクリックします。リストの一番下にメッセージが追加されます。

補足

リストからメッセージを削除する場合、削除したいメッセージを選択し、[削除] ボタンをクリックします。リストからメッセージが削除されます。

3.9 プログラム起動

学習者タブレットのプログラムを先生側から一斉に起動することができます。授業でよく使うプログラムをあらかじめリストに登録し、選択して起動したり、その場でプログラムを指定して起動したりすることができます。

3.9.1 よく使うプログラムをリストに登録する

授業でよく使うプログラムをあらかじめリストに登録しておくことができます。

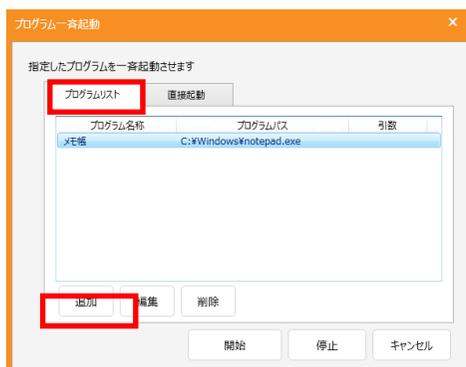
●操作手順

1 座席ツールメニューで [プログラム起動] ボタンをクリックします。

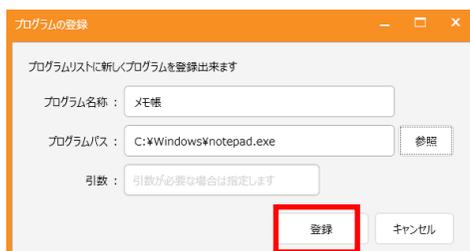
「プログラム一斉起動」画面が表示されます。

2 「プログラム一斉起動」画面で「プログラムリスト」タブを選択し、[追加] ボタンをクリックします。

「プログラムの登録」画面が表示されます。



3 「プログラムの登録」画面でプログラム名称を入力、[参照] ボタンをクリックしてプログラムを選択し、必要であれば引数を入力して [追加] ボタンをクリックします。



補足

iOS 版の学習者に対して実行する場合には URI で指定します。

例) 「メモ」の場合
→ mobilenotes:

プログラムリストに登録されま
す。



補足

リストからプログラムを削除するには、プログラムリストで対象プログラムを選択し、[削除] ボタンをクリックします。

補足

プログラムリストのプログラムを変更するには、プログラムリストで対象プログラムを選択し、[編集] ボタンをクリックします。

3.9.2 学習者のプログラムを一斉に起動する

先生が学習者タブレットのプログラムを一斉に起動します。あらかじめリストに登録したプログラムを指定する方法と、起動するプログラムをその場で指定する方法とがあります。

●操作手順（リストに登録されているプログラムを指定する）

1 座席ツールメニューで [プログラム起動] ボタンをクリックします。

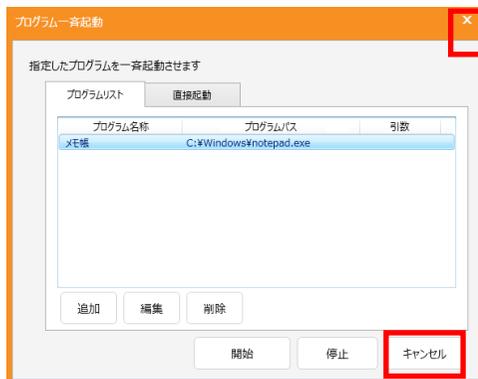
「プログラム一斉起動」画面が表示されます。

2 「プログラム一斉起動」画面で「プログラムリスト」タブを選択、リストから起動したいプログラムを選択し、[開始] ボタンをクリックします。

学習者タブレットで指定したプログラムが起動されます。



- 3 [×] ボタンまたは [キャンセル] ボタンをクリックして「プログラム一斉起動」画面を閉じます。



●操作手順（その場で起動するプログラムを指定する）

- 1 座席ツールメニューで [プログラム起動] ボタンをクリックします。

「プログラム一斉起動」画面が表示されます。

- 2 「プログラム一斉起動」画面で「直接起動」タブを選択します。[参照] ボタンをクリックして起動したいプログラムを指定し、必要であれば引数を入力して [開始] ボタンをクリックします。

学習者タブレットで指定したプログラムが起動されます。



- 3 [×] ボタンまたは [キャンセル] ボタンをクリックして「プログラム一斉起動」画面を閉じます。



補足

一部の学習者のみプログラムを起動したい場合は、手順 1 の前に対象学習者を選択しておきます。

補足

手順 2 で、リストからプログラムを選択し、[停止] ボタンをクリックすると、学習者タブレットのプログラムを終了します。

3.10 アナライザー

「アナライザー」機能を使うと、選択式のアンケートや問題を 1 問ずつ実行し、結果をその場で自動集計することができます。学習者の回答状況はリアルタイムに確認でき、集計結果はグラフや一覧で表示できます。

3.10.1 アナライザーの設問形式と画面

[アナライザー] をクリックすると、アナライザー画面が表示されます。設問形式、選択肢の数、制限時間等を指定し、学習者の回答を受け付けます。設問形式は「多肢選択問題（単一解答）」「正誤問題」「記述問題」から選択することができます。

補足

学習者の回答画面には問題文や指示文、選択肢の内容は表示されないため、プロジェクターに映したりホワイトボードに書いたりするなど、別の方法で提示します。

● アナライザー設問形式

● 多肢選択問題

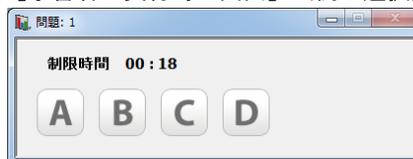
複数の選択肢（2～6）から 1 つを選択して答える問題。
ボタン表記は「文字（アルファベット）」「数字」を選択できます。

【先生：設定画面】



学習者は、ボタンをクリックして回答します。制限時間になるか、先生が回答を締め切るまで選択し直すことができます。

【学習者：実行時の画面】（例：選択肢＝4，文字表記）



● 正誤問題

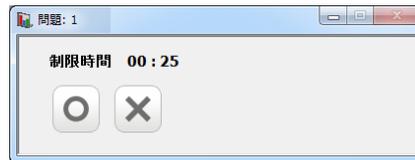
2つの選択肢から1つを選択して答える問題。
ボタン表記は「YES/NO」「✓/×」「○/×」を選択できません。

【先生：設定画面】



学習者は、ボタンをクリックして回答します。制限時間になるか、先生が回答を締め切るまで選択し直すことができます。

【学習者：実行時の画面】（例：「○/×」表記）



● 記述問題

文字を入力して答える問題。
自動で正誤判定するか、大文字・小文字を区別して正誤判定するかを指定できます。
正誤判定する場合、正答を入力します。

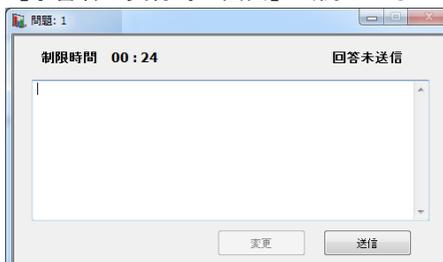
補定

正誤判定する場合、
・全角・半角は区別しません。
・入力した文字列の前後の空白文字は削除、文字列の間にある2つ以上の空白文字は1つの半角スペースとして正誤判定します。

【先生：設定画面】

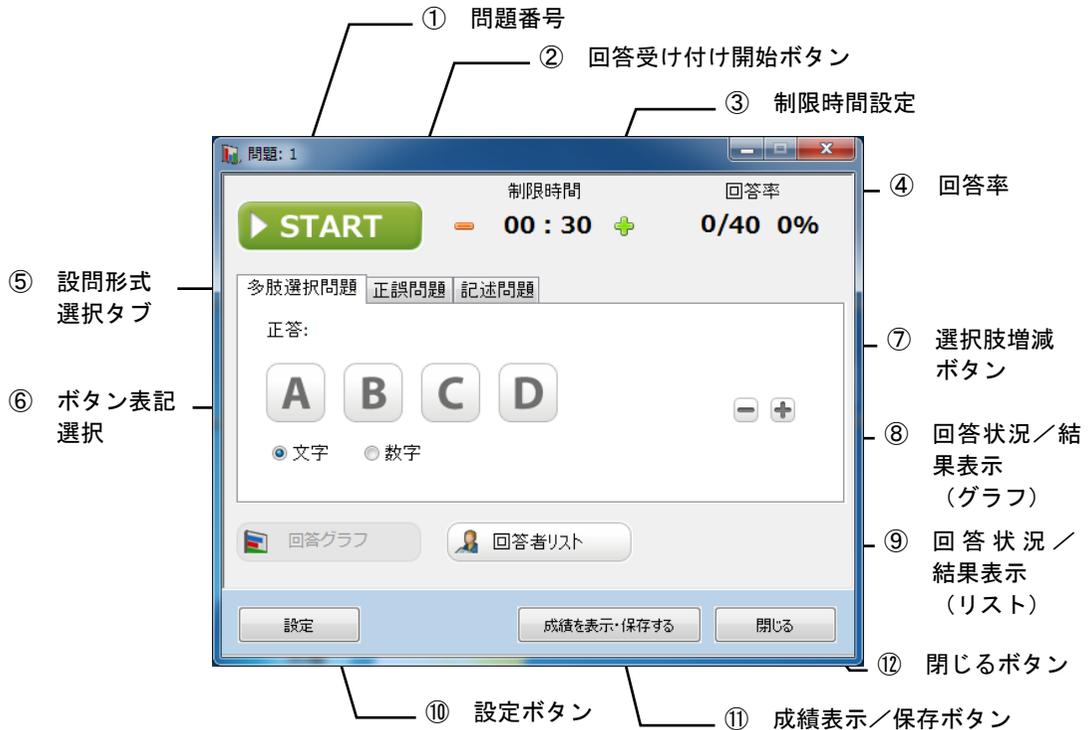


【学習者：実行時の画面】（例：「○/×」表記）



学習者は、入力欄に文字を入力し、[送信] ボタンをクリックして回答します。一度[送信] ボタンをクリックしても、制限時間になるか、先生が回答を締め切るまでは[変更] ボタンをクリックして回答し直すことができます。

●先生の画面（回答受け付け開始前）



名称	内容
① 問題番号	連続して出題する場合、何番目かを表示します。
② 回答受け付け開始ボタン	クリックすると、学習者の回答受け付けを開始します。
③ 制限時間設定	[－] [＋] ボタンをクリックすると、制限時間を減らしたり、増やしたりすることができます。 (1回のクリックで何秒増減するかは[設定]ボタンで設定できます。)
④ 回答率	出席者数と回答者数、および出席者に対する回答者の割合(%)を表示します。
⑤ 設問形式選択タブ	「多肢選択問題」「正誤問題」「記述問題」から出題の形式を選択します。
⑥ ボタン表記選択	「多肢選択問題」「正誤問題」の場合、ボタンの表記を選択します。 多肢選択問題の場合：「文字」「数字」 正誤問題の場合：「Y/N」「✓/×」「○/×」
⑦ 選択肢増減ボタン	「多肢選択」問題の場合、[－] [＋] ボタンをクリックすると選択肢の数を減らしたり増やしたりすることができます。(選択肢数=2~6)
⑧ 回答状況／結果表示(グラフ)	回答受け付け開始後、実行中または直前に実行した設問の回答状況／結果を棒グラフで表示します。 「多肢選択問題」「正誤問題」の場合： 選択肢ごとの回答者数、未回答の人数を棒グラフで表示します。 正答を指定している場合、正誤を色分けして表示します。 「記述問題」の場合： 回答済み／未回答の人数を棒グラフで表示します。正答を指定している場合、正解／不正解／未回答の人数を表示します。

⑨ 回答状況／結果表示 (リスト)	学習者ごとの回答内容をリストで表示します。 正答を指定している場合、結果欄に「正解」「不正解」を表示します。
⑩ 設定ボタン	「設定」画面を表示し、各種設定をします。(→P.61)
⑪ 成績表示／保存ボタン	アナライザーを開始してから現在までに出題した問題の正答率を、学習者ごとまたは設問ごとに表示・保存します。
⑫ 閉じるボタン	アナライザーを終了します。

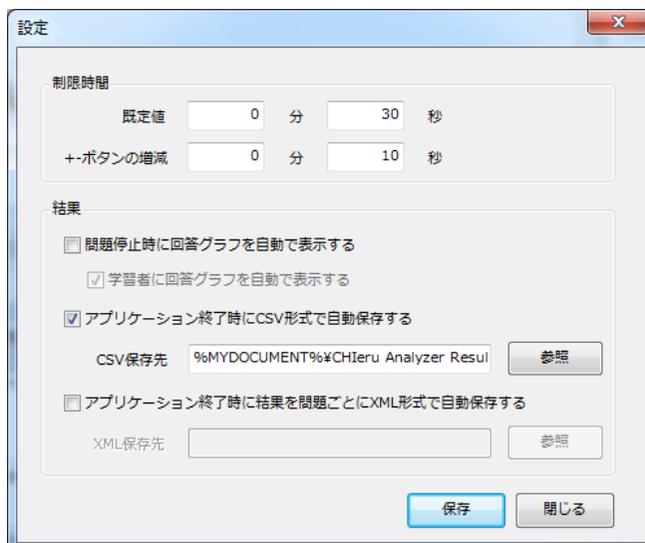
●先生の画面（回答受け付け開始後）



名称	内容
① 回答受け付け締め切りボタン	クリックすると、学習者の回答受け付けを締め切ります。
② 制限時間	設定した制限時間からカウントダウンします。 [-] [+] ボタンをクリックすると、制限時間を減らしたり、増やしたりすることができます。 (1回のクリックで何秒増減するかは[設定]ボタンで設定できます。)

●アナライザーの設定

アナライザーを実行する時の各種設定をします。



種類	項目	内容
制限時間	既定値（分，秒）	制限時間の既定値を指定します。
	＋ボタンの増減（分，秒）	[+] [-] ボタンを 1 回クリックしたときに増減する単位を指定します。
結果	問題停止時に回答グラフを自動で表示する	チェックを入れると、回答締め切り後、先生 PC に自動で結果グラフを表示します。
	学習者に回答グラフを自動で表示する	上記にチェックを入れている場合、チェックを入れると、学習者タブレットにも自動で結果グラフを表示します。
	アプリケーション終了時に CSV 形式で自動保存する	チェックを入れると、アナライザー終了時、自動で結果を CSV ファイルに出力します。保存先のフォルダーを指定します。
	アプリケーション終了時に結果を問題ごとに XML 形式で自動保存する	チェックを入れると、アナライザー終了時、問題ごとの結果を XML ファイルに自動保存します。保存先のフォルダーを指定します。

3.10.2 アナライザーを実行する

アナライザーを起動し、学習者の回答を収集し、クラス全体の結果を確認します。

●操作手順

1 座席ツールメニューで [アナライザー] ボタンをクリックします。

学習者サムネイルがアナライザー表示に切り替わります。
アナライザー画面が表示されます。

2 タブで設問形式を選択し、設問形式に応じて、ボタン表記等を指定します。

参照 設問形式と設定項目は「アナライザー設問形式」を参照してください。(→P.58)



3 制限時間を [-] [+] ボタンで設定し (秒単位)、[START] ボタンをクリックします。

回答受け付け画面に切り替わり、学習者タブレットに回答画面が表示されます。
制限時間がカウントダウン表示されます。



学習者が回答すると、座席アイコンに回答がリアルタイムに表示されます。



補足

アナライザー画面の [回答グラフ] [回答者リスト] ボタンをクリックすると、グラフやリストで回答状況をリアルタイムに確認できます。

- ・回答グラフ：選択肢ごと（または回答済み）／未回答の人数を棒グラフで表示します。
- ・回答者リスト：学習者ごとの回答内容をリストで表示します。

4 制限時間になると、回答受け付けを自動で締め切ります。

アナライザー実行画面にもどります。



補足

回答率（全体に対する回答者の割合）を確認し、制限時間前に回答受け付けを締め切りたい場合は [STOP] ボタンをクリックします。

補足

制限時間を延長／短縮する場合、 [+] / [-] ボタンをクリックして調整します。

5 クラス全体の回答結果を確認するには、[回答グラフ] ボタンをクリックします。

選択肢ごとの人数（または回答済み／未回答の人数）が棒グラフで表示されます。

参照

設定によっては結果グラフが自動で表示されます。「アナライザー設問形式」を参照してください。（→P.58）



- 6 正解がある問題の場合、正答の選択肢ボタンをクリックします。

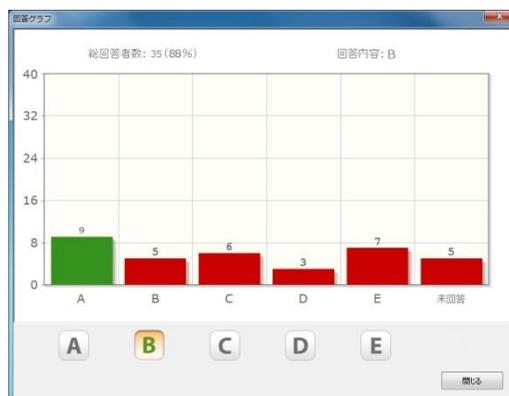
正誤を色分けして表示します。
(正解：緑，不正解：赤)



- 7 学習者タブレットに結果グラフを表示したい場合、[学習者に表示する] ボタンをクリックします。



学習者タブレットに結果グラフが表示されます。
自分の選択したボタンが押下した状態になっています。



- 8 続けて出題したい場合、手順 2~7 を繰り返します。

9 終了するには、アナライザー画面で [×] または [閉じる] ボタンをクリックします。

アナライザーの結果でグルーピングを行うか、確認する画面が表示されます。



10 グルーピングしたい場合、[OK] をクリックします。

補足

連続して出題した場合、最後の結果でグルーピングします。

同じ回答の学習者をグループにまとめます。学習者サムネイルにグループの色が付きます。学習者のらくらくメニューがグループの色に変わります。

グルーピングしない場合、[キャンセル] をクリックします。



3.11 小テスト

5種類の問題形式（単一選択／複数選択／入力／正誤／エッセイ）から形式を選び、組み合わせて問題を作成し、小テストとして一斉に実施します。解答はその場で自動採点され、集計結果が保存されます。作成した小テストは印刷することもできます。

補足

iOS版では利用できません。

補足

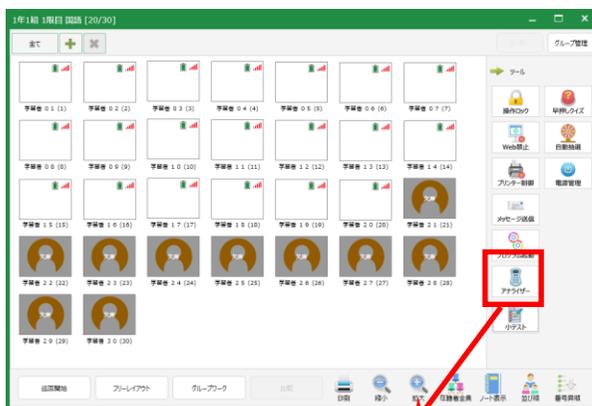
らくらく授業支援にはチエルフラッシュ型教材に対応した小テスト問題が用意されています。小テスト問題のインストールについては別冊の「らくらくシリーズ v2.2 セットアップガイド」を参照してください。

3.11.1 小テストの構成

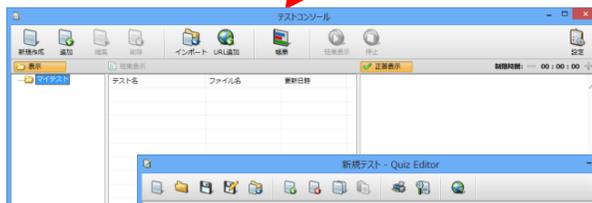
らくらく授業支援の小テストは、小テストを作成する「Quiz Editor」（小テスト作成ツール）と、小テストを実施する「テストコンソール」の2つから成ります。

座席ツールメニューで【小テスト】をクリックすると「テストコンソール」画面が表示されます。「テストコンソール」画面で【新規作成】をクリックすると、「Quiz Editor」画面が表示され、小テストを作成することができます。

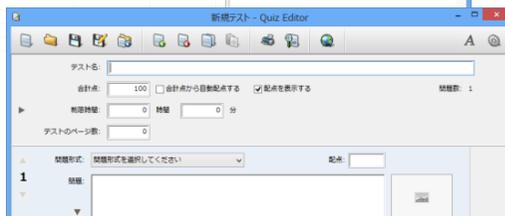
【座席画面】



【テストコンソール】



【Quiz Editor】



補足

「Quiz Editor」は先生 PC 以外にもインストールして小テストを作成できます。

3.11.2 小テストの問題形式

「Quiz Editor」では5種類の問題形式（「単一選択」「複数選択」「入力」「正誤」「エッセイ」）を組み合わせ小テストを作成することができます。1つの小テストには50問まで作成できます。

● 単一選択問題

選択肢の中から1つの正答を選ぶ問題形式です。

The screenshot shows the 'Quiz Editor' interface for a single-choice question. At the top, the '問題形式' (Question Type) is set to '単一選択' (Single Choice) and the '配点' (Points) is set to 1. The '問題' (Question) field is empty. Below it, there are four '選択肢' (Options) labeled A, B, C, and D, each with a radio button and a text input field. To the right of each option is a small 'OK' button. At the bottom, there are controls for adding (+) and removing (-) options, and radio buttons for selecting the character type: '文字' (Text) and '数字' (Number). A '保存' (Save) button is located at the bottom right.

問題文、選択肢を入力し、正答（1つ）をクリックします。
[+] [-] ボタンで選択肢の数を増減できます（2～6個）。
選択肢の前につける文字を「文字（アルファベット）」「数字」から選択できます。

● 複数選択問題

選択肢の中から複数の正答を選ぶ問題形式です。

The screenshot shows the 'Quiz Editor' interface for a multiple-choice question. At the top, the '問題形式' (Question Type) is set to '複数選択' (Multiple Choice) and the '配点' (Points) is set to 1. The '問題' (Question) field is empty. Below it, there are four '選択肢' (Options) labeled A, B, C, and D, each with a checkbox and a text input field. To the right of each option is a small 'OK' button. At the bottom, there are controls for adding (+) and removing (-) options, and radio buttons for selecting the character type: '文字' (Text) and '数字' (Number). A '保存' (Save) button is located at the bottom right.

問題文、選択肢を入力し、正答（複数可）をクリックします。
[+] [-] ボタンで選択肢の数を増減できます（2～6個）。
選択肢の前につける文字を「文字（アルファベット）」「数字」から選択できます。

●入力問題

正答を入力して答える問題形式です。

問題文、正答を入力します。

[+] [-] ボタンで正答を入力する欄の数を増減し（1～6個）、正答の候補を複数指定することができます。複数の正答を指定した場合、学習者がそのいずれかを解答すると正解と判定されます。

大文字・小文字を区別して正誤判定するかどうかを指定できます。

補足

全角／半角は区別せずに正誤判定します。

参照

解答文字列の前後に含まれる空白文字（スペース、タブ、改行）や、文字列内に含まれる連続した空白文字を無視して正誤判定したい場合、小テストを実行する前に[設定]ボタンをクリックし、設定します。（→P79）

●正誤問題

「はい／いいえ」または「正／誤」で答える問題形式です。

問題文を入力し、正答をクリックします。

選択肢の表示は「はい／いいえ」「正／誤」から選択できます。

●エッセイ問題

入力して解答する問題形式です。



The screenshot shows a form for creating an essay question. It has a light blue header with a dropdown menu for '問題形式:' (Question Type) set to 'エッセイ' (Essay) and a text input for '配点:' (Points). Below this is a large text area for '問題:' (Question) with a small downward arrow on the left. To the right of the text area is a small image icon and a button with a URL icon.

問題文を入力します。

配点を指定した場合、学習者が解答するとその配点が与えられます。

補足

各問題形式とも、静止画を貼ったり URL リンクを張ったりすることができます。各設問で、 をクリックすると、静止画を指定できます。 をクリックすると、URL を指定できます。

3.11.3 小テストを作成する

小テストを実行するには、あらかじめ小テストを作成します。

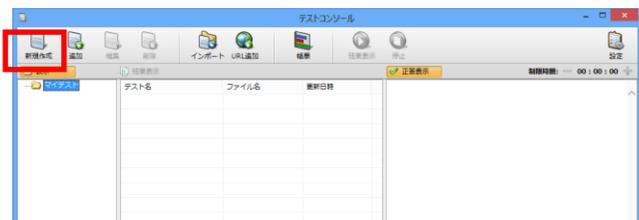
●操作手順

1 座席ツールメニューで [小テスト] ボタンをクリックします。

「テストコンソール」画面が表示されます。

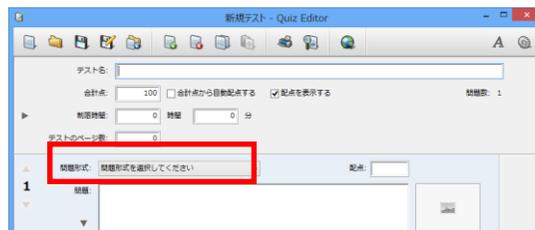
2 「テストコンソール」画面で [新規作成] をクリックします。

「Quiz Editor」画面が表示されます。



3 1 番目の設問の問題形式を選択します。(単一選択/複数選択/入力/正誤/エッセイ)

問題形式に応じた問題入力欄が表示されます。



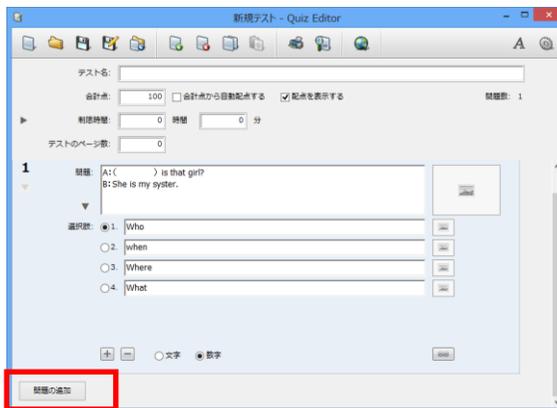
4 問題形式に合わせ、問題文、選択肢、正答等を入力します。



問題形式ごとの入力項目は「3.11.2 小テストの問題形式」を参照してください。(→P68)

5 設問を追加するには、[問題の追加] ボタンをクリックします。

作成した設問の下に新しい問題入力欄が追加されます。(設問の画面を下にスクロールして確認します。)

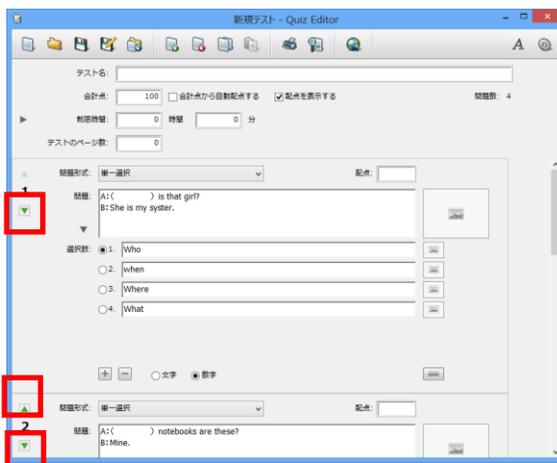


6 手順 3~5 を繰り返し、必要な数の設問を作成します。

補足

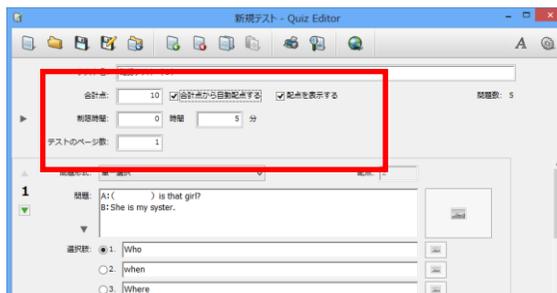
1つの小テストには最大 50 問まで作成できます。

7 設問の順番を見直します。[▼] [▲] ボタンをクリックして順番を入れ替えることができます。



8 小テストの情報を入力します。

- ・ テスト名
- ・ 合計点
- ・ 制限時間
- ・ ページ数



補足

合計点を入力し、「合計点から自動配点する」にチェックを入れると、設問数に応じて合計点を均等割りし、各設問に点数（整数）を配点します。
「合計点から自動配点する」にチェックを入れない場合、各設問の「配点」欄に点数を入力し、その合計を合計点として入力します。

補足

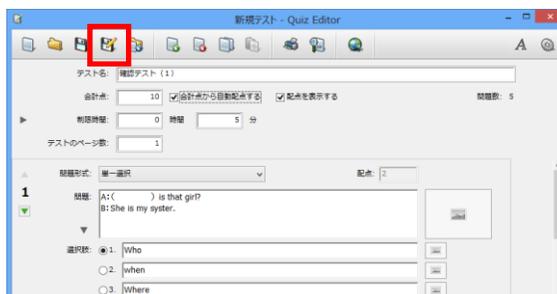
制限時間を指定した場合、小テストを開始してから制限時間が経過すると自動で小テストを終了します。
制限時間を指定しなかった場合、実行時に先生が手動で小テストを終了させることもできます。

補足

ページ数を指定すると、ページ数に応じて1画面に表示する設問数を自動調整します。ページ数が「0」（または「1」）の場合、1画面に表示します。

9 [名前を付けて保存] ボタンをクリックして保存します。

「名前を付けて保存」画面が表示されます。



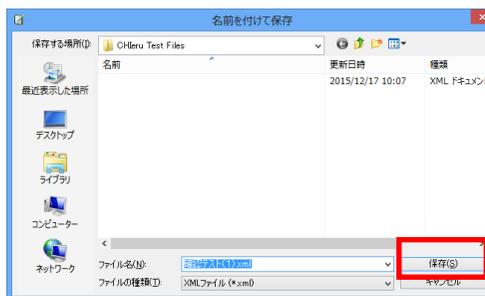
10 「ファイル名」欄には「テスト名」が表示されます。確認して [保存] ボタンをクリックします。

補足

「保存する場所」は「マイテスト」に指定されているフォルダーです。

補足

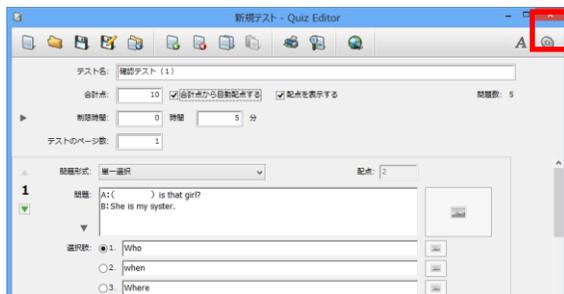
「ファイルの種類」は XML ファイルとなります。



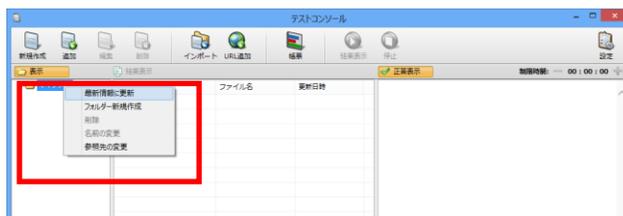
小テストが保存されます。

11 [×] ボタンをクリックし、「Quiz Editor」画面を閉じます。

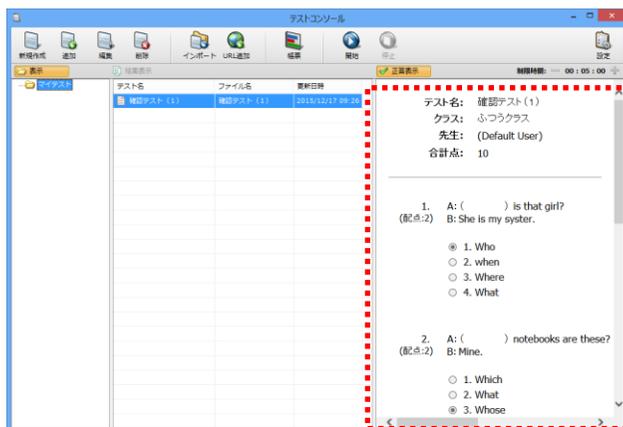
「テストコンソール」画面にもどります。



12 「マイテスト」の上で右クリックし、「最新情報に更新」を選択します。



一覧に作成した小テストが表示されます。
小テストを選択すると、プレビュー欄に内容が表示されます。



3.11.4 テキストファイルを用意して小テストを作成する

Quiz Editor 画面で問題を入力する代わりに、テキストファイルで問題を作成し、テストコンソールに読み込み、小テストとして保存することもできます。

●操作手順

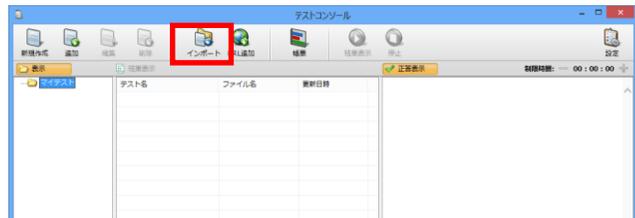
1 後述のテキストファイルのフォーマットに従い、小テストのファイルを用意します。

2 座席ツールメニューで [小テスト] ボタンをクリックします。

「テストコンソール」画面が表示されます。

3 「テストコンソール」画面で [インポート] をクリックします。

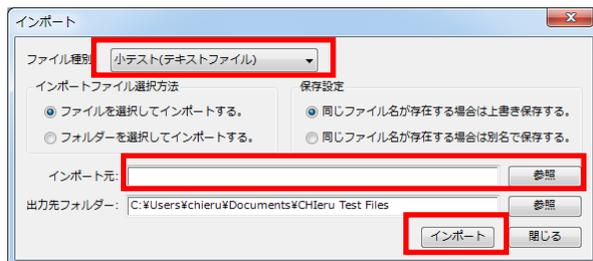
「インポート」画面が表示されます。



4 「インポート」画面で、ファイルの種類「小テスト (テキストファイル)」を選択し、インポートファイルの選択方法、保存設定、出力先のフォルダを適宜指定、「インポート元」でテキストファイルを指定します。

[インポート] ボタンをクリックします。

テキストファイルを読み込んで小テストが作られます。



補定

テキストファイルをインポートした場合、配点・合計点・制限時間等は設定されていません。Quiz Editor 画面で設定する必要があります。

5 「テストコンソール」画面の「マイテスト」フォルダの上で右クリックし、「最新の情報に更新」を選択します。

読み込んだ小テストがリストに表示されます。

6 小テストを選択し、[編集] ボタンをクリックします。

7 配点・合計点・制限時間等を指定し、[上書き保存] ボタンをクリックします。

小テストが保存されます。

●テキストファイルのフォーマット

1つの小テストに含めたい問題は1つのファイルに連続して記述します。

1問ごとに以下の内容を記述します。

- ① 問題種別
- ② 問題文
- ③ 選択肢（単一選択／複数選択／正誤問題の場合）
- ④ 選択肢（単一選択／複数選択／正誤問題の場合）
- ⑤ 正答（単一選択／複数選択／正誤／入力問題の場合）

<単一選択問題>

項目	記載
問題種別	[multiplechoice]
問題文	複数行の記載可
選択肢	1行に選択肢を1つずつ入れる。選択肢は2～6個。 【ラベル】【区切り文字】【選択肢の文字列】 ここで、 ラベル = 「A」～「F」または「1」～「6」 区切り文字 = 「. (ドット)」「(丸括弧)」
正答	【ANSWER:】【正答】 ここで、正答は上記で指定した【ラベル】

例)

```
[multiplechoice]
Unit4 のニュースを見て、次の問いに答えてください。
How much is the Rembrandt painting worth?
A) 14 million dollars
B) 40 million dollars
C) 140 million dollars
ANSWER:B
```

```
[multiplechoice]
Who bought the painting two years ago?
1. an artist
2. a businessman
3. an art dealer
ANSWER:3
```

<複数選択問題>

項目	記載
問題種別	[multiplechoice]
問題文	複数行の記載可
選択肢	1行に選択肢を1つずつ入れる。選択肢は2~6個。 【ラベル】【区切り文字】【選択肢の文字列】 ここで、 ラベル = 「A」～「F」または「1」～「6」 区切り文字 = 「. (ドット)」 「) (丸括弧)」
正答	正答が複数ある場合、1行に正答を1つずつ入れる。 【ANSWER:】【正答】 ここで、正答は上記で指定した【ラベル】

例)

[multiplechoice]

Miki と学生のやり取りを見て答えなさい。(正解は1つとは限りません。)

Mark the phrases used by the first man that Miki asked.

A. It's pretty far from here.

B. It's more than a 10-minute walk.

C. It's behind the library.

D. Go past the student union.

ANSWER:C

ANSWER:D

<正誤問題>

項目	記載
問題種別	[truefalse]
問題文	複数行の記載可
選択肢	1行に選択肢を1つずつ入れる。選択肢は2個。 【ラベル】【区切り文字】【選択肢】 ここで、 ラベル = 「T」「F」または「Y」「N」 ※ T/Fを指定した場合、「正」「誤」、 Y/Nを指定した場合、「はい」「いいえ」と表示 区切り文字 = 「. (ドット)」 「) (丸括弧)」 選択肢 = T/Fを指定した場合、「True」「False」 Y/Nを指定した場合、「Yes」「No」
正答	【ANSWER:】【正答】 ここで、正答は上記で指定した【ラベル】

例)

[truefalse]

The goddess in the painting is called Minerva.

T. True

F. False

ANSWER:T

[truefalse]

The painting has been in private collections.

Y) Yes

N) No

ANSWER:Y

<入力問題>

項目	記載
問題種別	[shortanswer]
問題文	複数行の記載可
正答	複数の正答がある場合、1行に1つずつ入れる。1~6個。 【ANSWER:】 【正答】

例)

[shortanswer]

During the election campaign, one of the main _____ was education.

ANSWER:issue

<エッセイ問題>

項目	記載
問題種別	[essay]
問題文	複数行の記載可

例)

[essay]

あなたももしこの絵を手に入れていたとしたら、どうしますか？

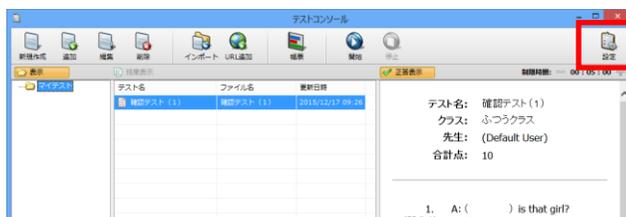
3.11.5 小テスト実行時の設定

「テストコンソール」画面で [設定] ボタンをクリックすると、小テスト実行時の動作を指定することができます。

●操作手順

- 1 「テストコンソール」画面で [設定] ボタンをクリックします。

「テスト設定」画面が表示されます。



- 2 各項目を確認、変更し、[保存] ボタンをクリックします。

指定した内容で小テストを実行できるようになります。

補足

学校の環境によっては、先生 PC の電源 OFF 時やシステム再起動時に設定が元にもどります。小テスト実行前に設定を確認してください。

●設定項目

制限時間

既定値 時間 分

++ボタンの増減 時間 分

番号・学習者名

テスト開始時に学習者に番号・名前を入力させる

出席の番号・名前を使用する

テストの表示

フルスクリーンで表示する

学習者ごとに問題の順番をシャッフルする

テストのページ数:

採点オプション

入力問題の大文字、小文字を区別する

入力問題の前後スペースを区別する

テスト結果の表示

表示しない

得点を表示する

採点結果の詳細を表示する

学習者に正解を表示する

答案提出後の画面表示

答案提出後にテスト結果を表示する

テスト終了後にテスト結果を表示する

テスト終了まで以下のメッセージを表示する

項目	設定	内容
制限時間	既定値 (時間, 分)	小テストに制限時間を設定していない場合の制限時間を指定します。
	++ ボタンの増減 (時間, 分)	小テスト実行中、[+] [-] ボタンで制限時間を延長、短縮することができます。ボタンを1クリックしたときの増減値を指定します。

番号・学習者名	結果に表示・保存する番号・名前を次の2つから指定します。 ・テスト開始時に学習者に番号・名前を入力させる ・出席の番号・名前を使用する	
テストの表示	フルスクリーンで表示する	チェックありの場合： 小テストが全画面表示となり、他のアプリケーションに切り替えることができません。 チェックなしの場合： 小テストはウィンドウ画面表示となり、大きさや位置を変更できるほか、他アプリケーションを表示することもできます。
	学習者ごとの問題の順番をシャッフルする	チェックありの場合： 同じページの中で、学習者によって設問の順番を変えて表示します。 チェックなしの場合： 先生が作成した順番で設問を表示します。
採点オプション	入力問題の大文字、小文字を区別する	チェックありの場合： 入力問題で、大文字・小文字を区別して正誤判定します。 チェックなしの場合： 入力問題で、大文字・小文字は区別せずに正誤判定します。
	入力問題の前後スペースを区別する	チェックありの場合： 入力問題で、学習者の解答および正答文字列前後に入力された空白文字もそのまま正誤判定します。 チェックなしの場合： 入力問題で、学習者の解答および正答文字列前後の空白文字を削除して正誤判定します。
テスト結果の表示	小テスト終了後、学習者に結果を表示するかどうかを次の3つから指定します。 ・表示しない ・得点を表示する：得点のみ表示します。 ・採点結果の詳細を表示する：得点と、設問ごとの正誤を表示します。 ※正答を表示するかどうかを選択します。	
答案提出後の画面表示	小テスト終了前に学習者が答案提出した場合、テスト結果を表示するかどうかを次の2つから指定します。「テスト結果の表示」については、前項の指定に準じます。 ・答案提出後にテスト結果を表示する ・テスト終了後にテスト結果を表示する	
	テスト終了まで以下のメッセージを表示する	チェックありの場合： 学習者が答案提出してから小テスト終了まで、表示するメッセージを指定できます。 チェックなしの場合： 学習者が答案提出後、特に何も表示しません。

3.11.6 小テストを実行する

「テストコンソール」画面であらかじめ作成した小テストを選択し、実行します。テスト終了時に自動採点され、結果レポートが保存されます。

● 操作手順

1 座席ツールメニューで [小テスト] ボタンをクリックします、

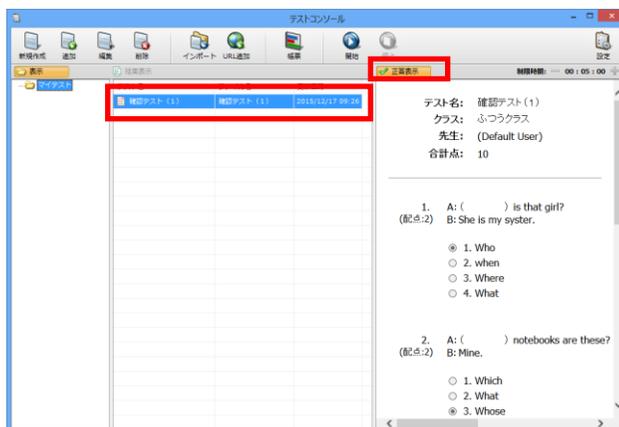
「テストコンソール」画面が表示されます。

2 テスト名の一覧から実行する小テストを選択します。

右側のプレビュー画面に選択した小テストの内容が表示されます。

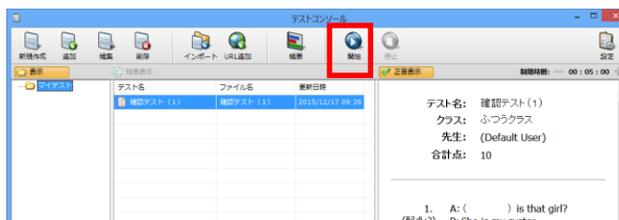
補足

[正答表示] を OFF にすると、プレビュー画面内の正答を非表示にします。

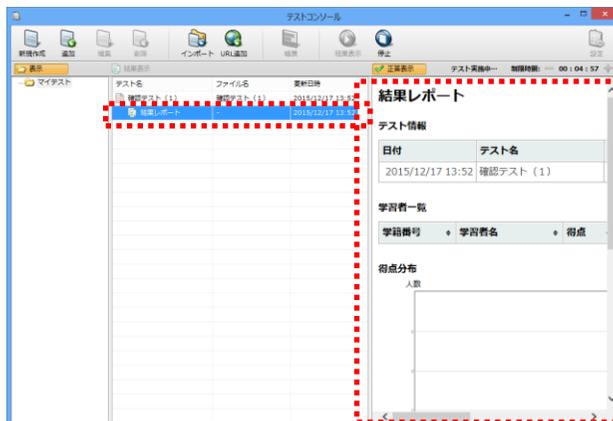


3 制限時間を確認し、[開始] ボタンをクリックします。

学習者画面に小テストが表示され、制限時間を指定している場合はカウントダウンが始まります。

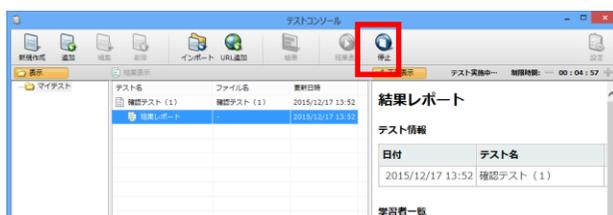


一覧の小テストの下に新しく「結果レポート」が追加され、プレビュー画面に結果レポートの内容が表示されます。



4 制限時間になるか、先生が[停止] ボタンをクリックすると、小テストを終了します。

学習者の小テスト画面が自動で閉じ、採点されます。「テストコンソール」画面の一覧で、実行した小テストの下に「結果レポート」が追加されます。



● 操作手順（学習者）

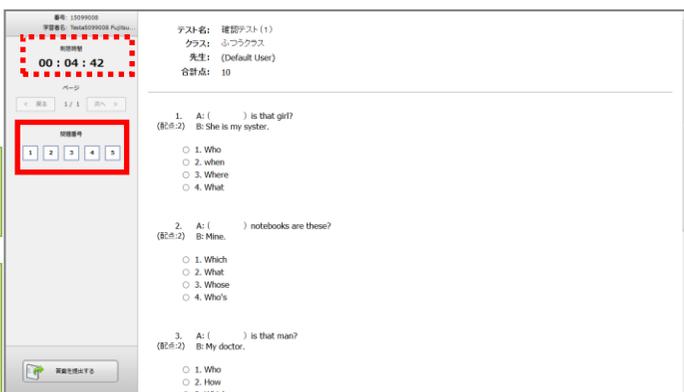
1 先生が小テストを実行すると、小テストが表示されます。問題に解答します。

補足

制限時間がある場合、残り時間を確認できます。

補足

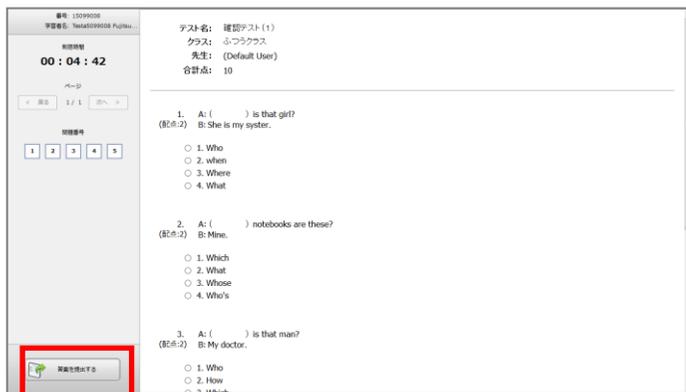
問題数が多い場合、問題番号のボタンをクリックしてその問題を表示させることができます



2 制限時間になったとき、または先生が小テストを終了したとき、解答途中であっても強制的に小テスト画面が閉じられ、自動採点されます。

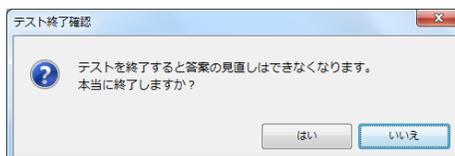
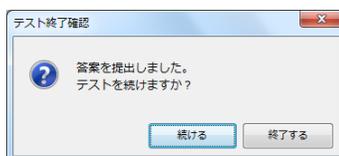
- 3 制限時間前に解答を提出したい場合、[答案を提出する] ボタンをクリックします。

「テスト終了確認」メッセージが表示されます。



- 4 終了したい場合は [終了する] を、もどって確認したい場合は [続ける] をクリックします。

終了してよい場合は、さらに [はい] をクリックします。
小テスト画面が閉じられます。



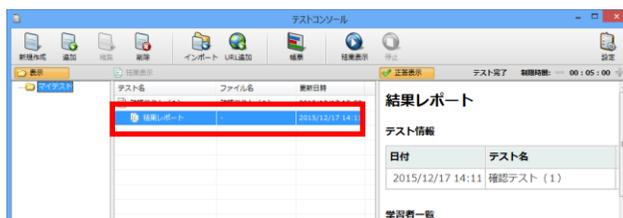
3.11.7 小テストの採点結果を表示する

「テストコンソール」画面に表示される実行結果を選択し、学習者の画面に表示します。

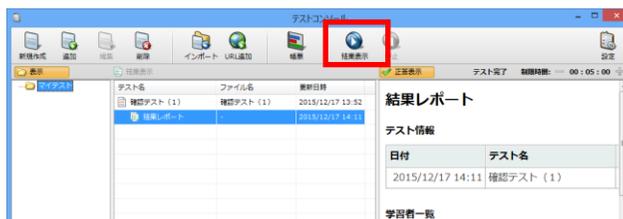
●操作手順

- 1 「テストコンソール」画面の一覧で、実行した小テストの下に表示される「結果レポート」を選択します。

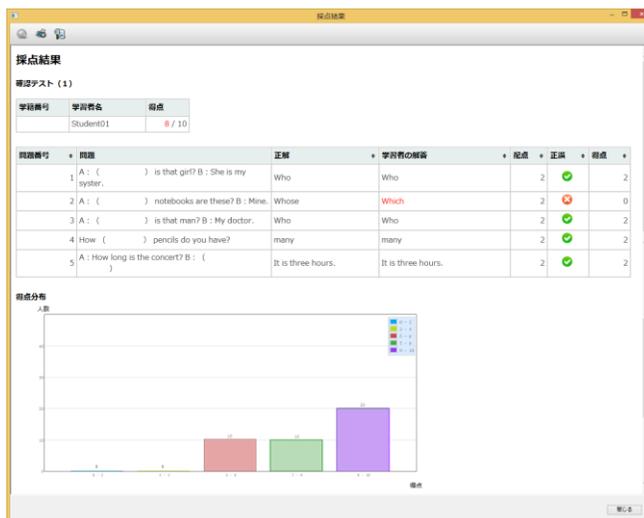
結果レポートの内容がレビュー画面に表示されます。



- 2 [結果表示] ボタンをクリックします。



学習者タブレットに小テストの結果が表示されます。



参照

学習者タブレットに表示される採点結果の内容（得点だけ表示する、設問ごとの正誤や正答を表示する等）は、小テストの設定で指定している項目に準じます。設定項目については「3.11.53.11.5 小テスト実行時の設定」を参照してください。（→P79）

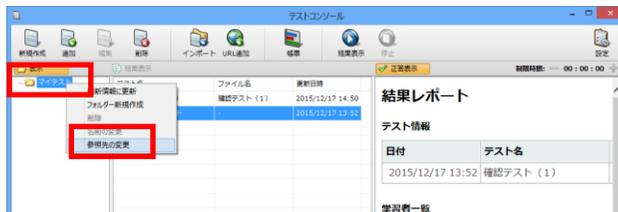
3.11.8 小テストの採点結果を確認する

小テストの採点結果は、小テストが保存されているフォルダーに自動で保存されます。

● 操作手順

- 1 「テストコンソール」画面で、「マイテスト」の上で右クリックし、「参照先の変更」を選択します。

「参照先の変更」画面が表示されます。



- 2 「参照先の変更」画面で「フォルダー」欄に表示されているパスを確認します。



補足

通常は「ドキュメント」フォルダーの下にある「CHLeru Test Files」フォルダーに割り当てられています。

- 3 エクスプローラーで上記 2 のフォルダーを開きます。

「Results_ (小テスト名) _YYYYMMDD_hhmmss」フォルダーに、採点結果が保存されています。(ここで「YYYYMMDD_hhmmss」は小テストを実行した日時)

- ・ result.csv

学習者ごとの得点、正答率、設問ごとの解答内容と正誤、および問題ごとの正答率が CSV ファイル (カンマ区切りテキストファイル) として保存されています。

- ・ 結果レポート.html

ダブルクリックすると、Web ブラウザが開き、「テストコンソール」のプレビュー画面で確認したのと同じ形式で採点結果を確認できます。

3.12 早押しクイズ

授業の途中で学習者の理解度を把握するために、早押しクイズを出題し、学習者に回答させることができます。

●操作手順

1 座席ツールメニューの [早押しクイズ] ボタンをクリックします。

「早押しクイズ」画面が表示されます。

2 [早押しの準備] をクリックします。

学習者タブレットに早押しボタン（準備中）が表示されます。



3 [早押し開始] をクリックします。

学習者タブレットの早押しボタンが「開始！」に変わり、ボタンが押せる状態になります。



- 4 学習者が早押しボタンを押すと、押した順に学習者の名前が表示されます。



学習者サムネイル上にも早押しボタンを押した順番が表示されます。



- 5 学習者を指名するには、一覧で学習者を選択し「回答権を与える」をクリックします。

対象学習者の画面に「先生に指名されました」と表示されます。学習者に回答してもらいます。



補足

必要に応じて、回答後に [正解] / [不正解] アイコンをクリックします。
 [正解] アイコンをクリックすると名前が緑色で表示され、ポイントが1つつ与えられます。
 [不正解] アイコンをクリックすると名前が赤色で表示されます。

6 [停止] をクリックすると早押しボタンの受付を終了します。

学習者は早押しボタンを押せなくなります。



7 [早押し準備] をクリックすると手順2にもどり、次の問題を開始します。

補足 [結果の消去] をクリックすると、正解ポイントをクリアします。

補足 [結果の保存] をクリックすると、結果を csv ファイルとして保存します。



8 終了するには [×] ボタンをクリックします。

「早押しクイズ」画面が閉じられます。



3.13 自動抽選

出席者の中からランダムに1名指名します。

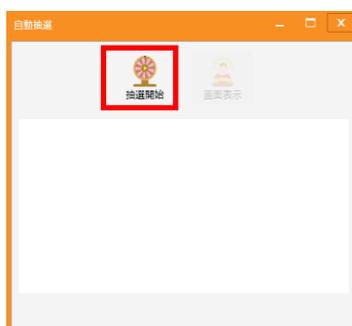
●操作手順

- 1 座席ツールメニューで [自動抽選] をクリックします。

「自動抽選」画面が表示されます。

- 2 「自動抽選」画面で [抽選開始] をクリックします。

表示が「抽選中…」になります。



- 3 任意のタイミングで [停止] をクリックします。

1名選ばれます

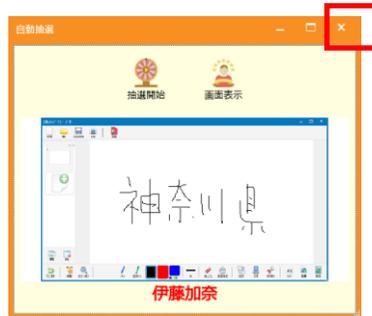


[画面表示] をクリックすると選択中の学習者の画面を画像ビューアで表示します。



4 次の学習者を選ぶには手順 2
にもどります。

5 終了するには [×] ボタンを
クリックします。



3.14 一斉印刷

学習者端末の画面やノートを一括して印刷します。

●操作手順

1 座席ツールメニューで「一斉印刷」ボタンをクリックします。

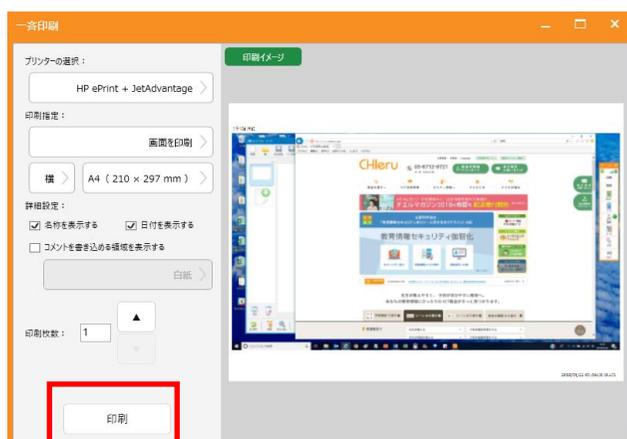
特定の学習者を対象にする場合は、「一斉印刷」をクリックする前に選択します。

(複数指定可)

「一斉印刷」画面が表示されます。

2 「一斉印刷」画面で、設定項目を指定し、「印刷」ボタンをクリックします。

指定した設定で印刷します。



【設定項目】

- ・ プリンターの選択
- ・ 印刷指定
 - ① 画面を印刷, ノートを印刷 (現在のページのみ), ノートを印刷 (1 イメージ/ページ), ノートを印刷 (2 イメージ/ページ), ノートを印刷 (4 イメージ/ページ)
 - ② 縦, 横
 - ③ 用紙サイズ
- ・ 印刷枚数
- ・ 詳細設定
 - ① 名称を表示する, しない
 - ② 日付を表示する, しない
 - ③ コメントを書き込める領域を表示する, しない
コメント種類: 白紙, 白紙 (氏名), 白紙 (日付), 横書き, 横書き (氏名), 横書き (日付), 縦書き, 縦書き (氏名), 縦書き (日付), 方眼紙 (大), 方眼紙 (中), 方眼紙 (小)

3.15 電源管理

学習者端末を先生から「サインアウト」「再起動」「シャットダウン」します。

補足

iOS 版では利用できません。

●操作手順

- 1 座席ツールメニューで [電源管理] をクリックします。

「電源管理」画面が表示されます。

- 2 学習者を選択せずに [サインアウト] [再起動] [シャットダウン] ボタンをクリックすると、全端末を対象として実行します。

学習者を選択してボタンをクリックすると、選択した学習者端末を対象として実行します。



- 3 「電源管理」画面を閉じるには [X] ボタンをクリックします。



CHieru サポートについて

下記サポートセンターまでお問い合わせください。

URL <http://technical.chieru.co.jp/>

E-Mail support@chieru.co.jp

TEL 03-5781-8110

FAX 03-6712-9461

【受付時間】

午前 10 時～正午、午後 1 時～午後 5 時

土曜日、日曜日、祝祭日および弊社指定休日は休業させていただきます。

らくらく授業支援 v2.2 操作ガイド

2018 年 5 月

作成/発行/企画 チエル 株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川 2-2-24 天王洲セントラルタワー3F

※ 記載されている会社名及び商品名は、各社の商標もしくは登録商標です。

- * 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- * 本書の内容の一部、または全部を無断で転載、あるいは複製することを禁じます。
- * 本書の内容については万全を期して制作致しましたが、万一記載に誤りや不完全な点がありましたらご容赦ください。

CHieru チエル 株式会社

- 本 社 〒140-0002 東京都品川区東品川 2-2-24 天王洲セントラルタワー3F
TEL: (03)6712-9721 FAX: (03)6712-9461
- 札幌営業所 〒060-0062 北海道札幌市中央区南 2 条西 9 丁目 1-2 サンケン札幌ビル 6F
TEL: (011)804-7170 FAX: (011)804-7171
- 仙台営業所 〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院 1-1-5 タカノボル第 25 ビル 4F
TEL: (022)217-2888 FAX: (022)206-5222
- 首都圏営業所 〒140-0002 東京都品川区東品川 2-2-24 天王洲セントラルタワー3F
TEL: (03)6712-9471 FAX: (03)6712-9461
- 名古屋営業所 〒465-0002 愛知県名古屋市中区丸の内 3-21-25 清風ビル 2F
TEL: (052)687-2225 FAX: (052)687-2226
- 大阪営業所 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島 7-1-29 新大阪 SONE ビル 5F
TEL: (06)6838-3077 FAX: (06)4806-7056
- 福岡営業所 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 3-10-12 J-MAX ビル 6F
TEL: (092)483-1603 FAX: (092)483-1604
- 沖縄営業所 〒903-0804 沖縄県那覇市首里石嶺町 4-99-1 まるしんビル 1F
TEL: (098)886-1715 FAX: (098)886-1725

<http://www.chieru.co.jp>